



## CG-200 ソフトウェアバージョンアップ (CG-200\_Install2019)

### 目次

前書き .....	4
特徴.....	4
動作環境 .....	4
重要な注意事項 .....	5
イメージ接続図 .....	6
初期設定ウィザード .....	7
概要-ユーザーインターフェイス .....	7
プレビューペインをオンにする .....	9
HDMI 出力をオンにする .....	9
設定>環境設定.....	9
モード .....	10
HDMI 接続 .....	10
ラップトップ .....	10
ツールバーで大きなアイコンを使用する .....	11
シンプルな CG オブジェクトを追加する.....	11
バックグラウンド .....	12
テキスト.....	12
テキストソース.....	12
オブジェクトテキストクロック .....	13
CSV ファイル.....	13
静的ロゴの追加.....	20
準備されたファイルのテキストを使用する .....	22
画像シーケンスの表示.....	25
グルーピング .....	27
ホットキー .....	34
オブジェクト .....	35
スクリプトエディターの紹介.....	37
スクリプトエディター操作の例 .....	40
オートメーション .....	45
自動化操作の例.....	48
ホットキーでプレイ .....	54
オブジェクトナビゲータ .....	58
CG-200 ユーザーインターフェイスを異なる言語で表示する .....	60
高度-テキストの代わりに変数を使用する .....	62
CSV ファイル.....	63

TC-200 と CG-200



サポート窓口

## datavideo JAPAN

株式会社 M&Inext datavideo 事業部

〒231-0028 神奈川県横浜市中区翁町 2-7-10 関内フレックスビル 210

TEL:045-415-0203 FAX:045-415-0255

MAIL: [service@datavideo.jp](mailto:service@datavideo.jp) URL: <http://www.datavideo.jp/>

## 前書き

Datavideo CG-200、Character Generator ソフトウェアをご購入いただきありがとうございます。  
ございます。

CG-200 は、多くのプロフェッショナルな機能を提供するだけでなく、簡単に習得でき、すぐに使用できるように設計されています。オペレーターは、PCIe カードを搭載したハイエンドのデスクトップ PC を持ち運ぶ代わりに、Windows ラップトップを使用して現場でプロフェッショナルなオーバーレイを作成できます。

CG-200 は、HDMI 接続を介して Windows を実行している従来のラップトップまたは PC からコンピューター生成ビデオストリームを出力します。RGB の代わりに、出力ビデオ形式は 4 : 2 : 2 YCbCr + Alpha です。

## 特徴

最大 1080 までの PAL、NTSC、および HD ビデオ解像度をサポート

### ■ HDMI / DVI / ディスプレイポート CG オーバーレイ出力\*。

Windows ベースの TrueType / OpenType フォントをサポートします。

### ■ 時計機能 HH : MM または HH : MM : SS。

timer カウントダウンタイマー HH : MM : SS。

タイマー HH : MM : SS をカウントアップします。

alpha アルファチャネル PNG、TGA、GIF を含む画像をインポート

CSV ファイル、RTF、TXT からテキストをインポートします。

### ■ 水平テキストクロール

### ■ 縦書きテキストクロール

### ■ シンプルなオブジェクトアニメーション

### ■ テキストとオブジェクトの透明度

### ■ 時間指定され、手動で開始されるタイマー

## 動作環境：

\*Windows 7、Windows 8 または Windows 10

\* DirectX 9.0c 2010 年 6 月以降

\* 2 つの出力、2 番目の出力に HDMI または DVI コネクタを備えた DirectX 9 互換のグラフィックアダプター、

少なくとも 256 MB のビデオメモリ

重要な注意事項：

- \* CG-200 は Windows DirectX テクノロジーを使用しています。 その最新バージョンを確認するには

DirectX がユーザーのシステムに存在し、CG-200 インストーラーが DirectX WebSetup を実行します。

または、完全な DirectX エンドユーザー再配布可能ファイルをダウンロードします。

<http://www.microsoft.com/download/en/details.aspx?displaylang=en&id=8109>

- \* Windows の内部コンポーネントを使用して CG テキストをレンダリングするため、CG-200 では ClearType テクノロジー（Windows が LCD モニター上のテキストをスムーズにするために使用）をオフにする必要があります。 CG-200 は自動的にオフにします

起動時に、終了時にユーザー設定を復元します。 これにより、CG-200 の実行中に Windows ユーザーインターフェイスの外観がわずかに低下する場合があります。

- \* CG-200 はテキストのレンダリングに Windows RTF コンポーネントを使用するため、依存します

Windows の DPI 設定。 ファイルが異なる DPI 設定で PC に保存された場合、テキストは大きくまたは小さく表示される可能性があります。 CG-200 は、そのような場合にユーザーに警告します 【不一致が検出されました。】

- \* CG-200 は、HDMI 出力を更新するリアルタイムアプリケーションです 50/60Hz この要件は、コンピューターに重要です。

- \*リソースは他のアプリケーションによって消費されるべきではありません。CG-200の実行中は、他のフォアグラウンドタスクを開始しないようにしてください。

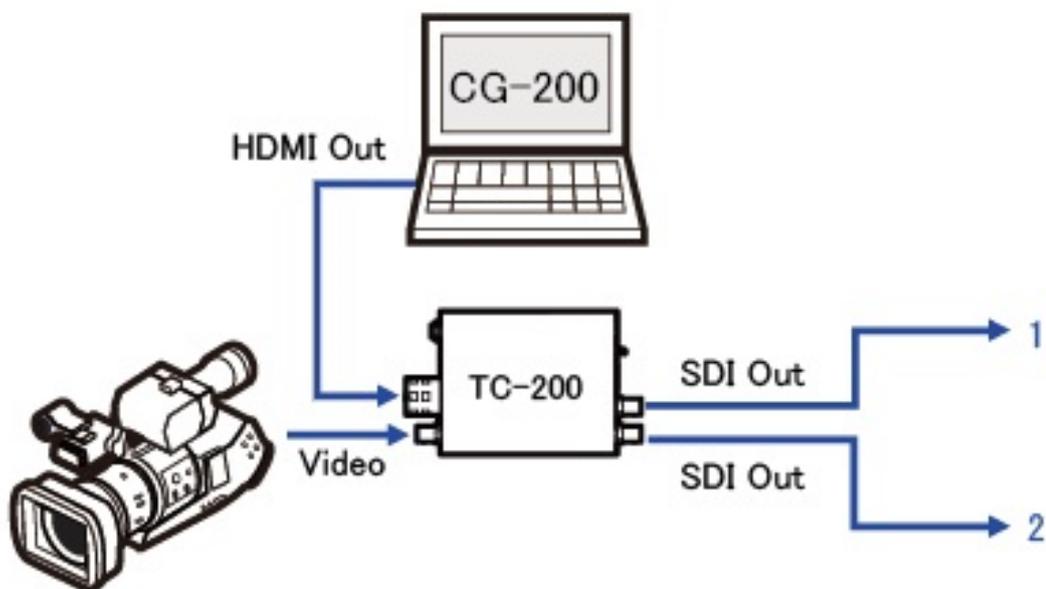
- \*デスクトップの強化（Windows Aero など）も多くのグラフィックアダプターリソースを消費するため、CG-200 は起動時にオフにしてください。

終了時にユーザー設定を復元します。

- \* HDMI チャンネルでは正確なピクセル間出力が必要です。画像とアルファチャンネルの分離が適切に機能しません。残念ながら、一部のグラフィックアダプタドライバは、デフォルトでオーバースキャンモードまたはアンダースキャンモードを有効にします。これにより、画像の端に黒い境界線が表示されるか、一部がまったく表示されない画像がズームされます。 この機能を有効にすることはできません

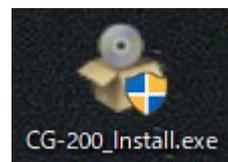
プログラムでオフにするため、オーバースキャン/アンダースキャンは手動で無効にする必要があります。

## イメージ接続図



ステップ 1：ソフトウェアをダウンロードしデスクトップに保存してください。ソフトウェアをクリックしてください。

CG-200 をインストールするアイコン



ソフトウェアダウンロードアドレス

[http://www.datavideo.jp/title\\_creator/tc\\_200.html](http://www.datavideo.jp/title_creator/tc_200.html)

CG-200 ソフトウェアバージョンアップ (CG-200\_Install2019)

ステップ 2：ステップバイステップのインストールウィザードに従ってください。





ステップ3: 終了したら、デスクトップアイコンをダブルクリックしてソフトウェアを起動してください。

## 初期設定ウィザード

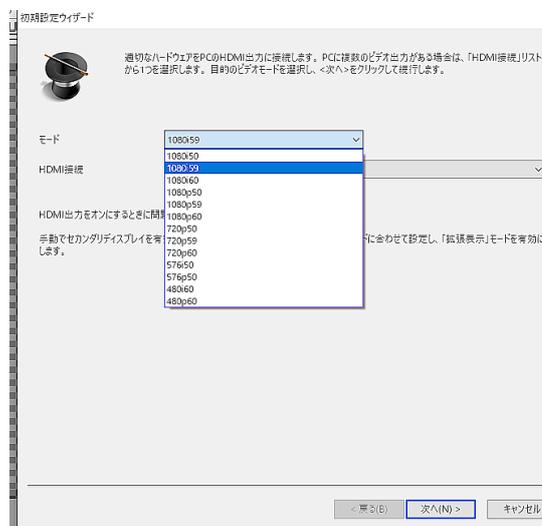
最初の使用時に必要なビデオモードを設定するのは簡単です。



## 概要-ユーザーインターフェイス

ドロップダウンをクリックしてお好みのモードを選択し、[次へ]をクリックします。

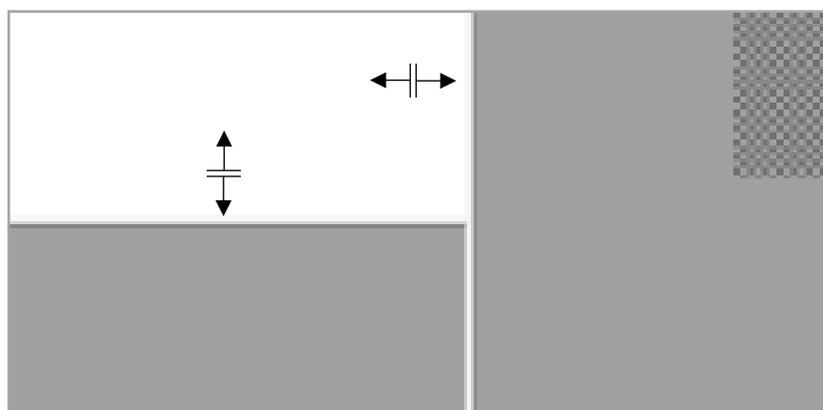
**注: 選択した解像度は、TC-200 オーバーレイボックスまたは使用するビデオ機器の出力と一致する必要があります。**





- 1.メニューとツールバー
- 2.ページ/プロジェクトペイン
- 3.プロジェクトのサムネイルプレビュー
- 4.プレビューウィンドウ。
- 5.編集ペイン。
- 6.プロパティペイン。

CG-200 ユーザーインターフェイスペイン 2、3、4、5、および 6 は、ニーズに合わせてサイズを変更できます。マウスポインターを使用してペインの端をクリックしてドラッグするだけです。



プレビューペインをオンにする

プレビューペイン (4) は、CG プロジェクトを編集または作成するときに CG プロジェクトを再生するのに便利です。これにより、プロジェクトの 1 つまたはすべての要素が HDMI 出力にライブで表示される方法を確認できます。

ファンクションキー F9 を押して、プレビューペイン (4) のオンとオフを切り替えます。または、上部のツールバーの[目]ボタンをクリックします。



選択したツールバーボタン上にマウスポインターを置くと、短い説明が表示されます。

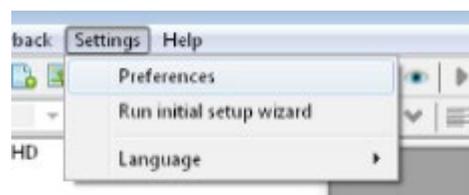
HDMI 出力をオンにする

これにより、現在の CG プロジェクトをラップトップから TC-200 ユニットに再生できます。

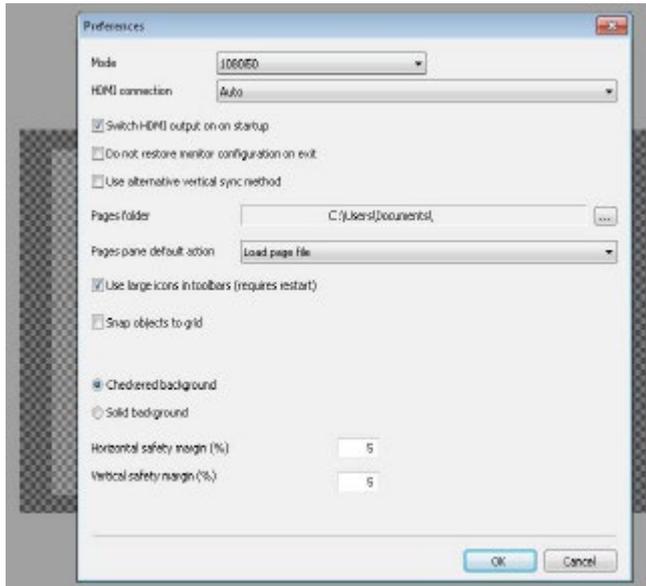
ファンクションキー F10 を押して、CG HDMI 出力のオンとオフを切り替えます。または、上部のツールバーの[表示]ボタンをクリックします。



設定>環境設定



環境設定は、ドロップダウンメニューの[設定]から設定できます。



#### モード

プロジェクトで使用するビデオモードを選択します。**プレビューおよび HDMI 出力**は最初にオフにする必要があります。

#### HDMI 接続

ラップトップの HDMI 出力は、CG-200 をすぐに自動的にオンに設定できます起動しました。HDMI デバイスの接続が検出されない場合、エラーが表示される場合があります。この

HDMI ケーブルを TC-200 ユニットまたはビデオスイッチャーに接続するように通知します

#### ラップトップ

終了時にモニター構成を復元しない

このチェックオプションは、ラップトップモニターと Windows 表示モードを指します。CG-200 の実行中にラップトップモニターモードが変更され、HDMI 出力で最高のパフォーマンスが得られます。ほとんどの場合、チェックを付けなくて済むのが最善です。

#### 別の垂直同期方法

この設定は、外部機器が別の同期基準を必要とする特別な状況で使用されます。ほとんどの場合、チェックを付けなくて済むのが最善です。ビデオが破れたり、CG の動きが粉々になった場合は、このオプションをオンにして上記の状況を改善してください。

#### ページ/プロジェクトフォルダの場所

構成ボタンをクリックすると、CG-200 を使用して、CG-200 ページとプロジェクトが保存されているラップトップ上の必要なフォルダーに自動的に移動できます。起動時に、ページペインにフォルダとファイルツリーが表示されます。

**ファイル保管場所 : C:\Users\user\Documents\CG-200\Examples**

ツールバーで大きなアイコンを使用する

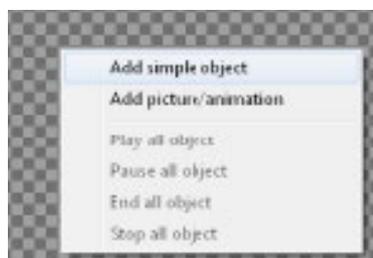
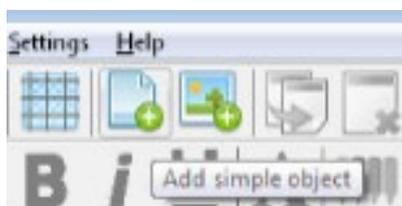
チェックマークを付けると、大きいツールバーアイコンを表示するために CG-200 を再起動する必要があります。

安全マージンの設定

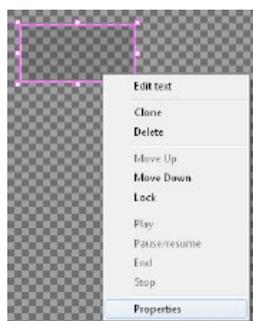
表示領域全体のパーセンテージを、CG オブジェクトの外側の端の安全マージンとして指定できます。これにより、CG テキスト、シェイプ、または画像がビデオ領域の端に近すぎる可能性がある場所を判断して回避できるため、オブジェクトが正しく表示されないようにできます。

シンプルな CG オブジェクトを追加する

[シンプルオブジェクトの追加]ツールバーボタンをクリックして、テキストオブジェクトとして定義できる CG オブジェクトを作成します。



または、マウスの右ボタンを使用して、この編集ペインの市松模様の背景領域をクリックします。メニューボックスが表示されたら、[シンプルオブジェクトの追加]をクリックします。

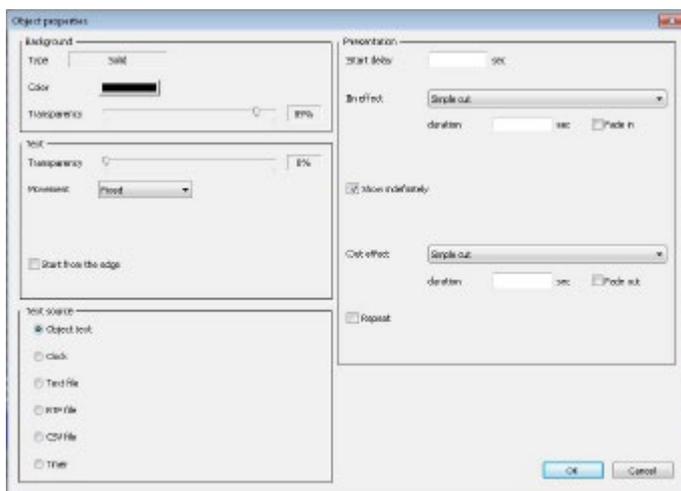


空の CG オブジェクトボックスが表示されます。

この CG オブジェクトボックスは、必要な場所に移動し、外側のエッジのハンドルを使用してサイズを変更できます。

正しい位置とサイズに設定したら、マウスの右ボタンを使用して同じオブジェクトをクリックし、[プロパティ]を選択します。

## オブジェクトプロパティダイアログボックス



### バックグラウンド

すべての CG オブジェクト（単純なオブジェクトと画像/アニメーション）の背景は、示す [オブジェクトプロパティ] ダイアログボックス内で設定できます。

オブジェクトボックスの背景を選択した色に設定し、部分的または完全に透明にすることができます。

### テキスト

すべての CG オブジェクトのテキスト（単純なオブジェクトと画像/アニメーション）は、[オブジェクトのプロパティ] ダイアログボックス内で設定できます。

オブジェクトのテキストを選択した色に設定し、部分的または完全に透明にすることもできます。

テキストはボックスの端から開始でき、固定、水平スクロール、垂直ロールなどの動きで定義することもできます。

### テキストソース

すべての CG オブジェクト（単純なオブジェクトと画像/アニメーション）のテキストソースは、[オブジェクトプロパティ] ダイアログボックスで設定できます。

テキストのソースは次のように設定できます。

オブジェクトテキストクロック

オブジェクトに直接入力

ラップトップの Windows 時刻を参照として使用する

テキストファイル

同じ CG Project / Page フォルダに保持されている RTF ファイルファイル

CSV ファイル

タイマーのカウントアップまたはカウントダウン

プレゼンテーション

すべての CG オブジェクト（単純なオブジェクトと画像/アニメーション）の表示は、[オブジェクトプロパティ]ダイアログボックス内で設定できます。

開始遅延、エフェクトのイン/アウト、および継続時間のオプションにより、プレゼンテーション設定は、CG ページファイルの再生中に現在の CG オブジェクトを表示する方法とタイミングを定義します。

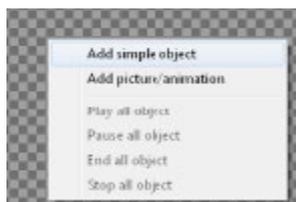
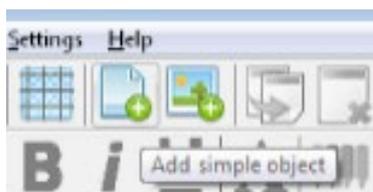
単純な下 3 分の 1 オーバーレイの作成

新しい CG-200 ページまたはプロジェクトを開始するには、ドロップダウンメニューパス [ファイル]> [新規]を使用します。

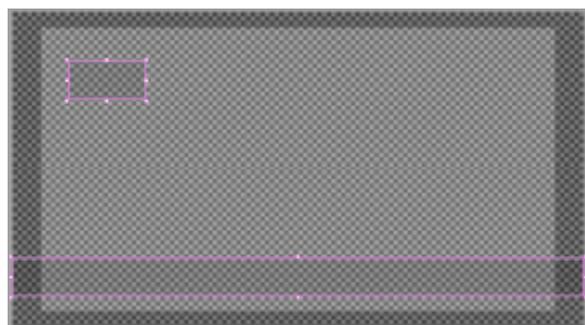
を表す空白または市松模様の背景が表示されます

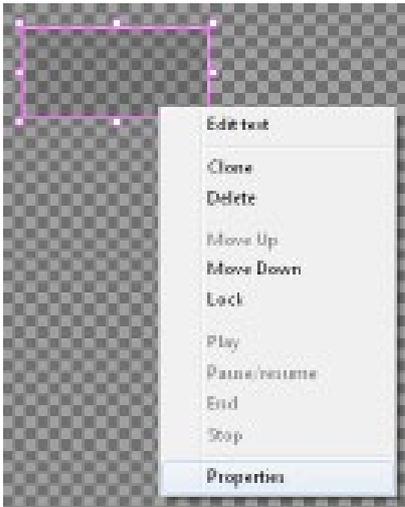
選択した解像度のビデオスペース。

トップツールバーの[シンプルオブジェクトの追加]ボタンをクリックするか、背景スペースを右クリックします。



新しいオブジェクトボックスが表示されます。背景領域の上にある下 3 番目の位置にドラッグします。次に、マウスポインターを使用してオブジェクトボックスを引き伸ばしてサイズを変更し、下の 3 番目のタイプの長方形を作成します。

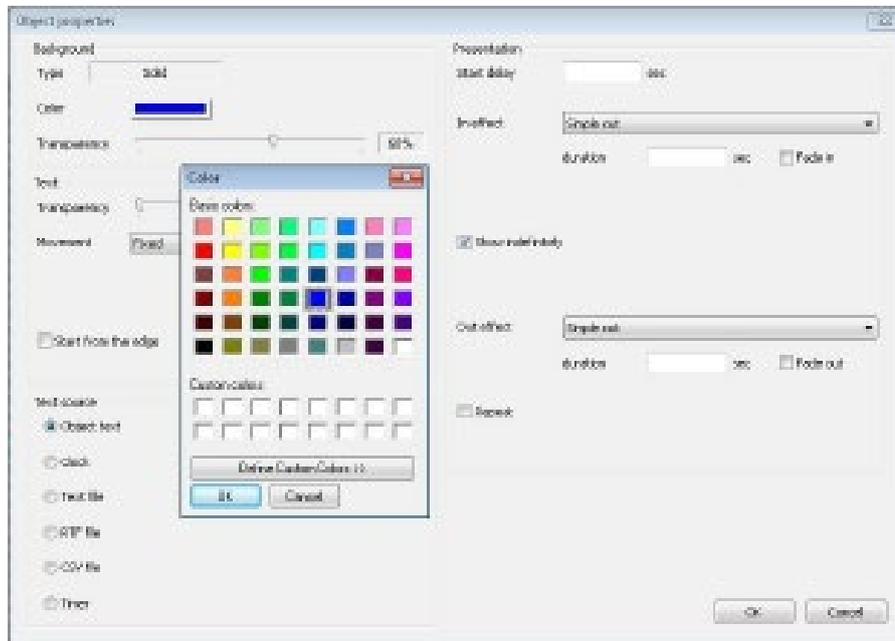




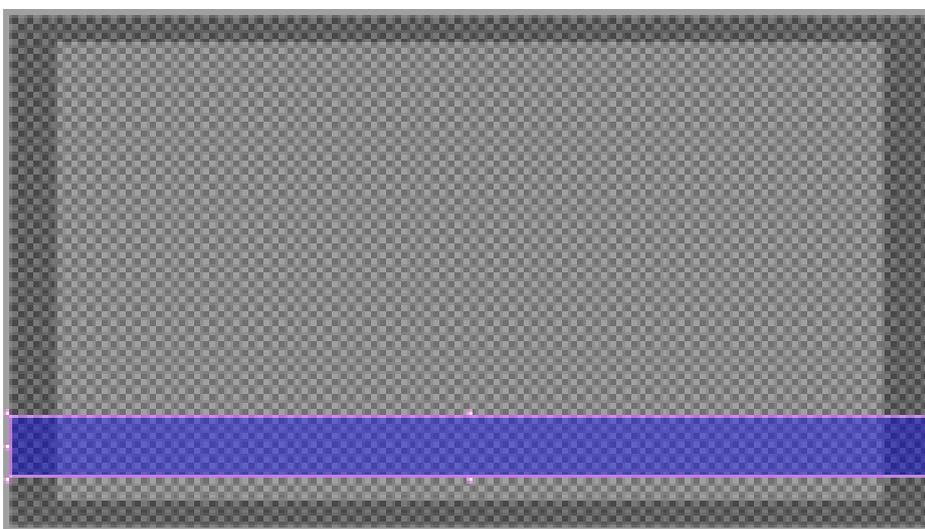
正しい位置とサイズになったら、マウスの右ボタンを使用して同じ下の3番目のオブジェクトをクリックし、[プロパティ]を選択します。

これにより、プロパティダイアログボックスが表示されます。

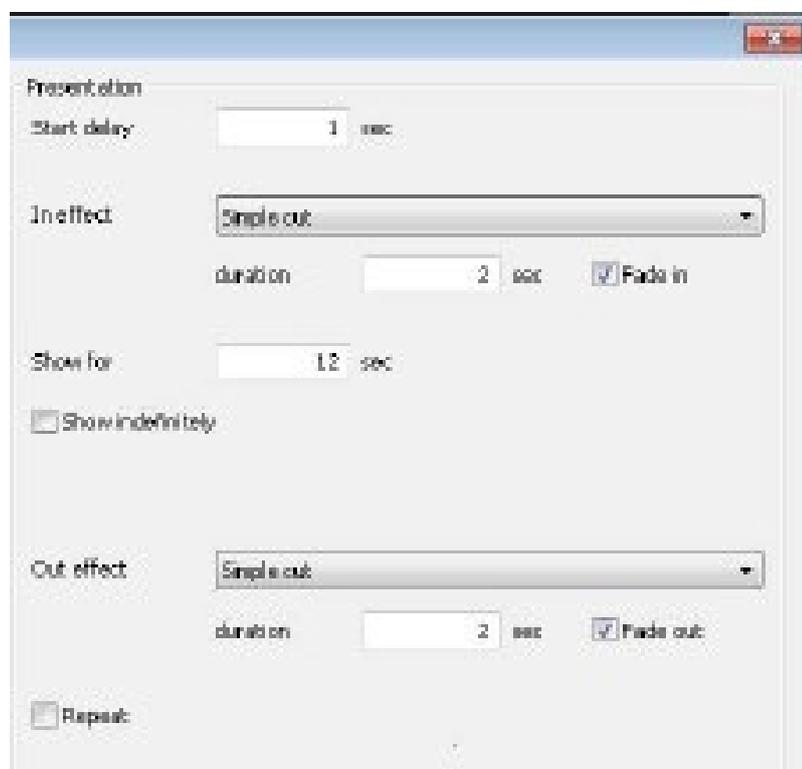
下に示された。下3番目のオブジェクト内の背景の色と透明度を設定します。透明度の値が低いほど、オブジェクトはより固く見え、下の3番目のボックスから見えるビデオは少なくなります。



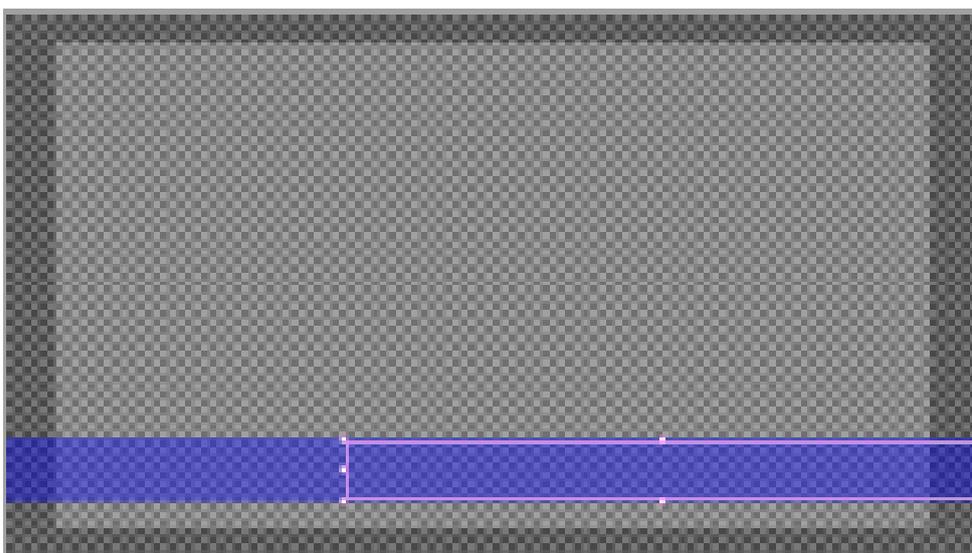
下の 3 番目のボックスは次のようになります。



この下の 3 番目のオブジェクトボックスを右クリックして、プロパティダイアログを使用して、これがいつどのように表示されるかを決定できます。



次に、この下 3 分の 1 の上に白い実線のテキストを追加する必要があります。 同じプロセスを使用して 2 番目のオブジェクトボックスを作成します。 2 番目のボックスは、最初のオブジェクトよりもわずかに小さくて短くなり、下部の 3 番目のバーの上に配置されるため、100%透明になります。



この 2 番目の CG オブジェクトをクリックして選択し、上部のツールバーの[テキストの編集]ボタンをクリックします。



ゲスト名と組織の 2 番目の CG オブジェクトにテキストを入力できるようになりました。 テキストのフォント、サイズ、色は、下のツールバーを使用して変更できます 26

MS Word のような他のアプリケーションで行います。



このゲスト詳細オブジェクトボックスでマウスボタンを右クリックし、プロパティダイアログを使用して、このテキストをいつどのように表示するかを決定できます。

ここでは、単純な待機 3 秒を選択し、3 秒以上フェードインします。画面を 12 秒間押し続けてから、3 秒間かけてフェードアウトします。12 秒は、最初の CG オブジェクトのタイミングと一致するため、下部の 3 番目のバーとテキストは調整された方法で表示および非表示になります。

プレビューペインを使用して、これまでに作成したものを再生し、すべてが適切なタイミングで表示されることを確認できます。

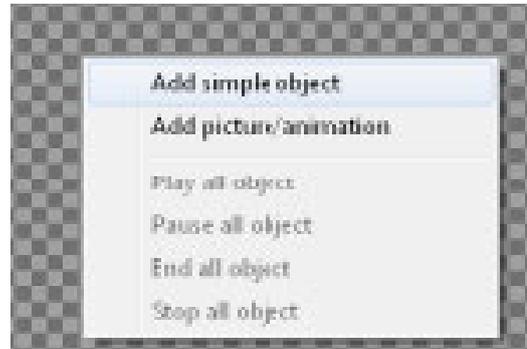
ファンクションキー F9 を押して、プレビューペイン (4) のオンとオフを切り替えます。または、上部のツールバーの[目]ボタンをクリックします。



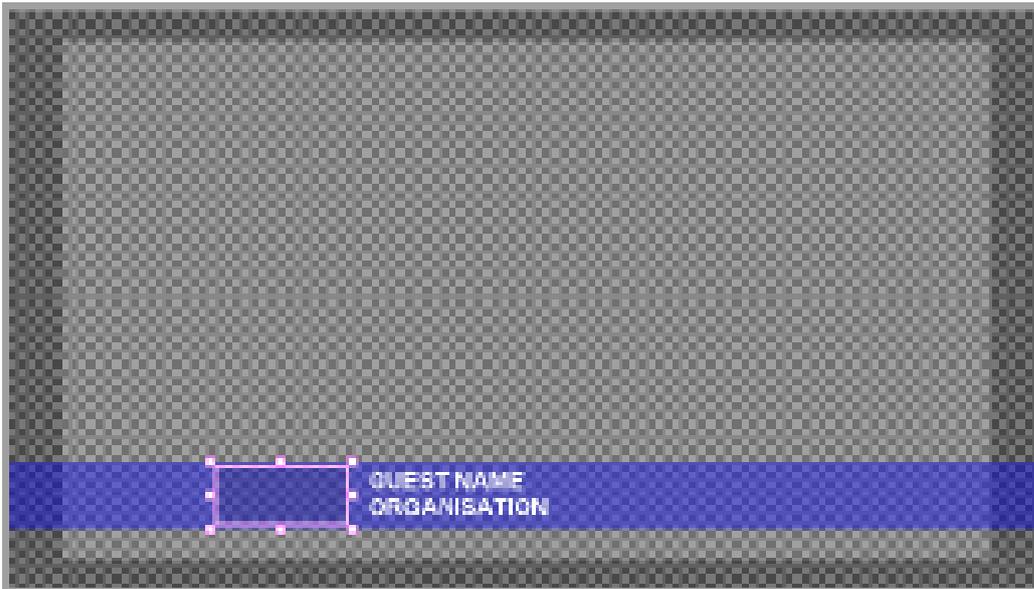
したがって、今やるべきことは、ステーション/プログラムのロゴを追加することだけで、このページのプロジェクトを完了するためのクロックになるかもしれません。

時計を追加する

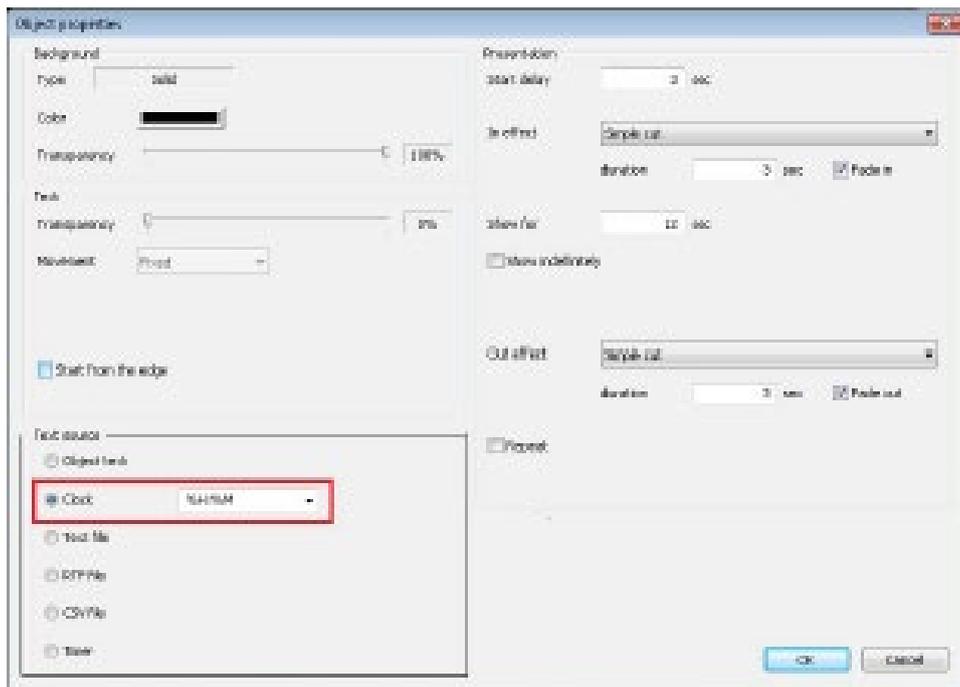
トップツールバーの[シンプルオブジェクトの追加]ボタンをクリックするか、背景スペースを右クリックします。



新しいオブジェクトボックスが表示されます。前に作成した下3番目の要素にドラッグします。下の3番目のバーに収まるようにオブジェクトのサイズを変更します。



オブジェクトのプロパティを使用して、このオブジェクトを時計として定義できます。



ラジオボタンを使用して、この CG オブジェクトのテキストソースとして Clock を選択します。このオプションの横にあるドロップダウンでは、他の形式の時刻と日付を選択できますが、HH:MM は要件を満たす必要があります。

テキストフォントの前と同様に、下 3 番目のテキストに合わせてサイズと色を少し変更する必要がある場合があります。

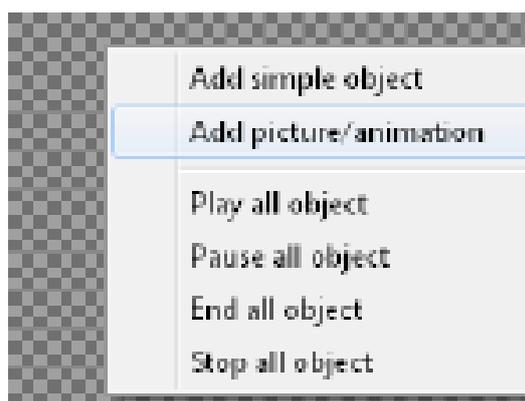


注：フォント、サイズ、色を変更すると、実際の時間ではなく、時計のプログラミングフィールドが表示されます。これは正常です。



#### 静的ロゴの追加

上部のツールバーの[画像/アニメーションオブジェクトの追加]ボタンをクリックするか、背景スペースを右クリックします。



新しいウィンドウが開き、プログラムまたはステーションのロゴに使用する画像ファイルに移動して選択できます。

受け入れられる画像ファイルの種類は次のとおりです。

.bmp ビットマップ画像

.jpg Jpeg 画像

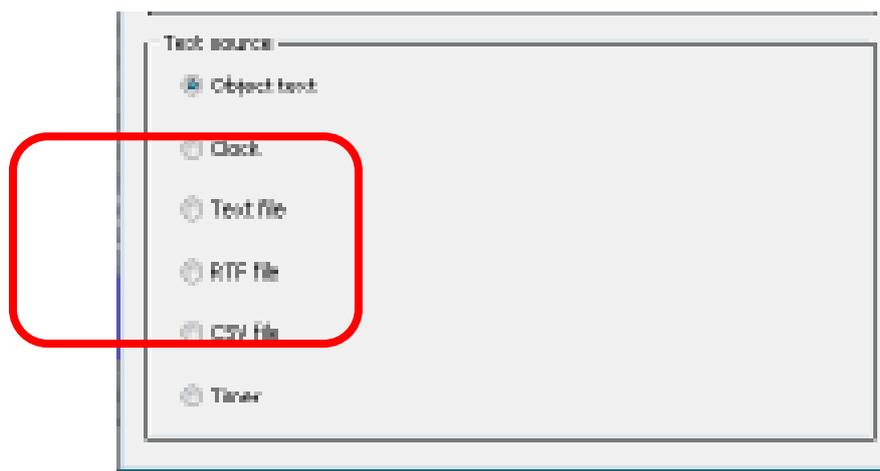
.tga Targa 画像+アルファチャネル.gif GIF 画像+アルファチャネル.png PNG 画像+アルファチャネル

追加すると、画像はフルサイズで表示されます。 外側の端のハンドルを使用して画像のサイズを変更し、目的の場所に移動する必要がある場合があります。



準備されたファイルのテキストを使用する

CG テキストボックス内でテキストを自動的に変更するには、オブジェクトのテキストソースを[プロパティ]ダイアログボックスで CSV、RTF、またはテキストファイルとして定義する必要があります。



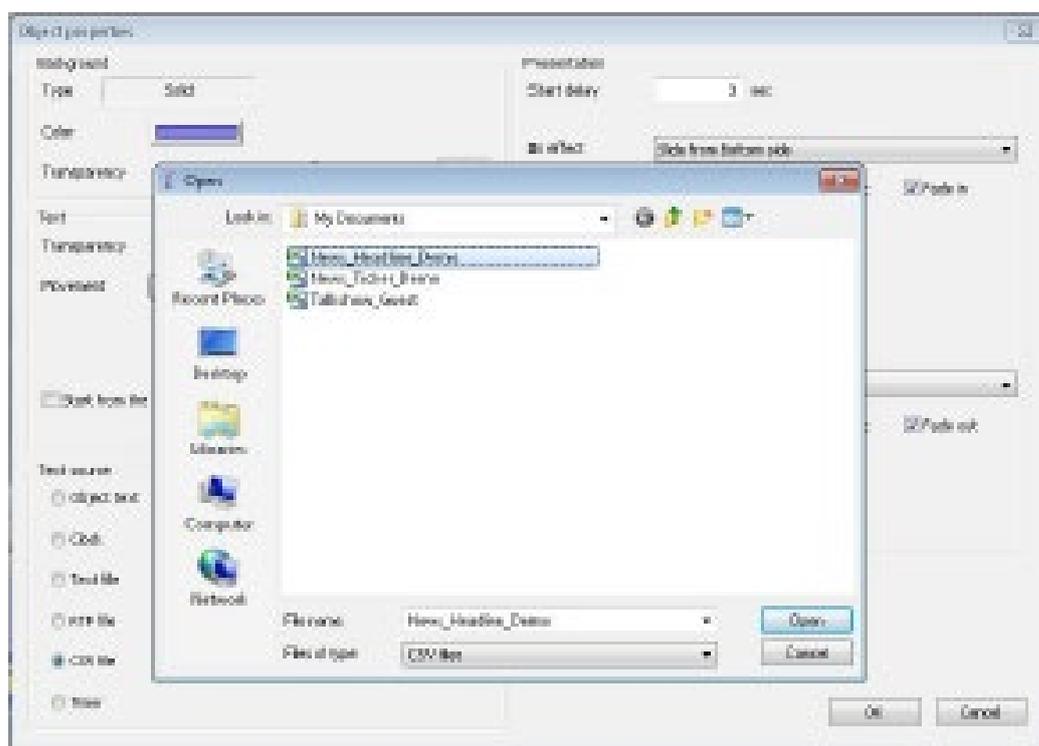
ファイルは事前に準備し、同じページまたはプロジェクトフォルダーに保存して、簡単に見つけられるようにする必要があります。

CSV ファイルまたはカンマ区切り値ファイルは、MS Excel または Open Office のようなものを使用して簡単に作成できます。

CSV ファイルに記入する方法の例を以下に示します。最初の列の各セルは、定義された垂直ロールまたは水平クロールで表示されるテキストの異なる行を表します。

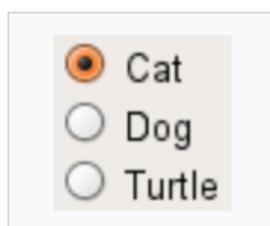
	A	B	C	D	E
1	BREAKING NEWS : GANG RAID OZ ARENA				
2	BREAKING NEWS : PUTIN IN PUBLIC				
3	BREAKING NEWS : MUSEUM TOPS LIST				
4	BREAKING NEWS : COMET LANDER AWAKE				
5	BREAKING NEWS : SNOW ON WAY				
6	BREAKING NEWS : FA CUP WIN				
7					
8					

注：オブジェクトは実行されないため、2つのアプリケーションでテキストファイルを開くことはできません。CGプロジェクトを実行する前に、CSVファイルを保存して閉じます。テキストファイルを作成して保存したら、CSVファイルをCGオブジェクトの[プロパティ]ダイアログボックスで参照できます。ラジオボタン\*1でCSV、RTF、またはテキストを選択すると、選択ウィンドウが開き、定義中のCGテキストオブジェクトにファイルをリンクできます。オブジェクトのプロパティで[ファイルの変更を監視する]ボックスをオンにして、CSVファイルが更新されるとCG-200が自動的に更新されるようにします。

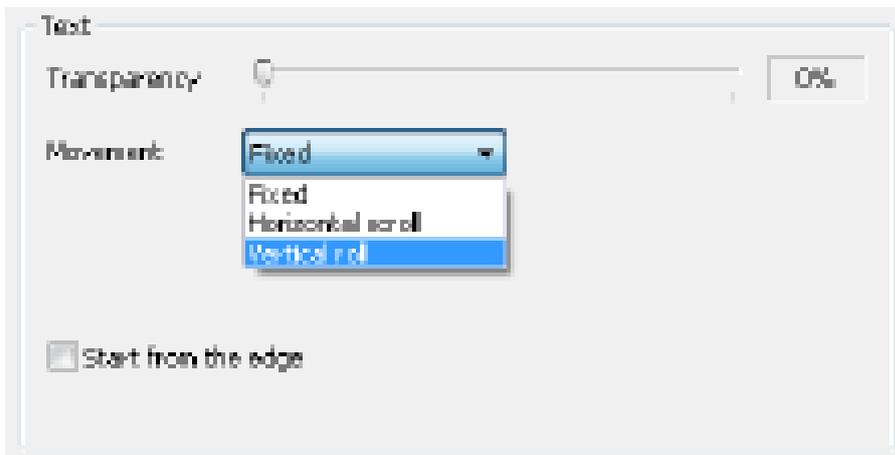


テキストオブジェクトは、固定、水平スクロール、または垂直ロールとして定義できます。プレゼンテーションの設定とタイミングは、必要な効果に応じて変更する必要があります。

\*1 ラジオボタン (英: radio button) またはオプションボタン (英: option button) は、GUI ウィジェットの一種です。



ラジオボタン。'Cat' を選択した状態。



以下は、4つのテキストオブジェクトが同時に表示されているCG-200プロジェクトの例です。



下のバーにあるNEWS 365オブジェクトは、単純な固定テキストオブジェクトです。

BREAKING NEWSオブジェクトもFixed textオブジェクトですが、CSVファイルにリンクされています。このボックスは、プレゼンテーション設定を使用して下の暗いバーから上にスライドし、繰り返すたびにCSVファイルから新しいテキスト行を表示します。

下部のバーに表示される時間 15:27 は、CLOCK HH : MM として設定されたテキストオブジェクトです。

NEWS 365 の右側には、別の CSV ファイルにリンクされた水平スクロールオブジェクトがあります。これにより、ニュースティッカーテープのような効果が作成されます。

注：1 つの CG-200 ページファイルのオブジェクト要素の最大数は 255 です。基礎となる CSV ファイルのテキストの行数は、制限できます。

#### 画像シーケンスの表示

個々の画像のセットは、シーケンスまたはセットの順序で表示できます。各画像はわずかに異なり、素早く表示すると、アニメーション画像、動くタイトル、回転するロゴのように見える場合があります。

最初に、各行に順番に画像がリストされた単純なテキストファイル[.txt]を作成します。画像のファイル名に順番に番号が付けられていると役立ちます。各ファイル名の後に、セミコロン[; ]に続いて、ミリ秒単位の画面上の持続時間[ms]。1000 ミリ秒は 1 秒に相当します。

ファイル構造の例は次のとおりです。

fly0000.tga; 20

fly0001.tga; 20

fly0002.tga; 20

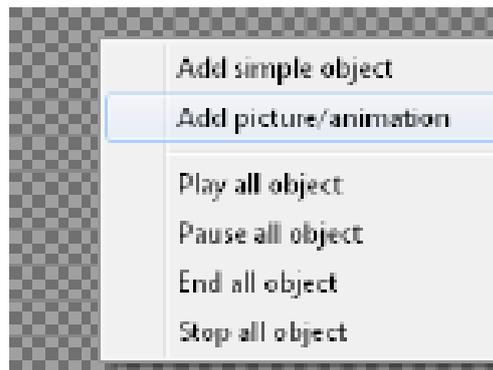
fly0003.tga; 20

fly0004.tga; 20

fly0005.tga; 20

上記の例では、fly0000.tga がシーケンスの最初のファイル名で、fly0005.tga が最後のファイルです。各ファイルは 20 ミリ秒間表示されます。リストの最後に達すると、シーケンスが自動的に繰り返されます。

上部のツールバーの[画像/アニメーションオブジェクトの追加]ボタンをクリックするか、背景スペースを右クリックします。



新しいウィンドウが開き、イメージシーケンスに使用するテキスト[.txt]ファイルに移動して選択できます。テキストファイルが正しく作成され、画像と同じフォルダに保存されている場合、シーケンスの最初の画像が表示されます。最初の画像の位置とサイズを変更すると、他の画像は同じ場所で同じサイズで再生されます。



最初の画像



シーケンス再生

画像シーケンスは、事前に作成された targa、png または gif ファイルから作成できます。これらのファイルタイプは、クリアアルファチャンネルが必要な場合に使用できるため、画像シーケンスが表示されると背景ビデオが透けて見えます。Adobe Photoshop や After Effects などのサードパーティソフトウェアは、これらの Targa、GIF、PNG 画像シーケンスを生成できます。

ビットマップおよび Jpeg ファイルも画像シーケンスで使用できますが、基礎となる画像ファイルにはアルファチャンネルが見えない場合があります。

## グルーピング

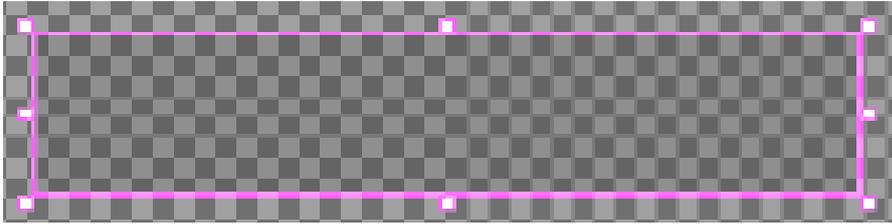
画面上の複数のオブジェクトを同時に制御すると便利な場合があります。たとえば、ユーザーはスポーツイベントのスコアを 2 つの別個のオブジェクト（自宅と訪問者など）で表示する必要があるかもしれませんが、この 2 つのオブジェクトは同時に表示する必要があります。以前のバージョンでこの動作を実現する唯一の方法は、個別のページファイルを作成して再生することでした。ただし、カウントダウンタイマーなどの他のオブジェクトを同時に制御することは困難です。

CG-200 ソフトウェアは、「グループ」と呼ばれる新しいオブジェクトプロパティを提供します。基本的には、任意のテキスト文字列を指定できるタグです。複数のオブジェクトに同じ「グループ」タグがある場合、それらは常に一緒に制御されます。ユーザーがそのようなオブジェクトのいずれかをダブルクリックして再生すると、同じ「グループ」タグを持つすべてのオブジェクトが再生されます。ユーザーがそのようなオブジェクトのいずれかを選択して「停止」、「終了」、または「一時停止」をクリックすると、この操作は同じ「グループ」タグを持つすべてのオブジェクトに適用されます。デフォルトでは、オブジェクトには「グループ」タグはありません。ユーザーが[グループ]プロパティをクリックすると、既存の[グループ]タグのドロップダウンリストから選択するか、テキストを手動で入力できます。グループ化機能の詳細を実現するには、以下に示す手順をご覧ください。

ステップ 1.

テキストを入力するための新しいテキストボックスを作成するには、次の図に示す「Add simple object」ボタンを押してください。





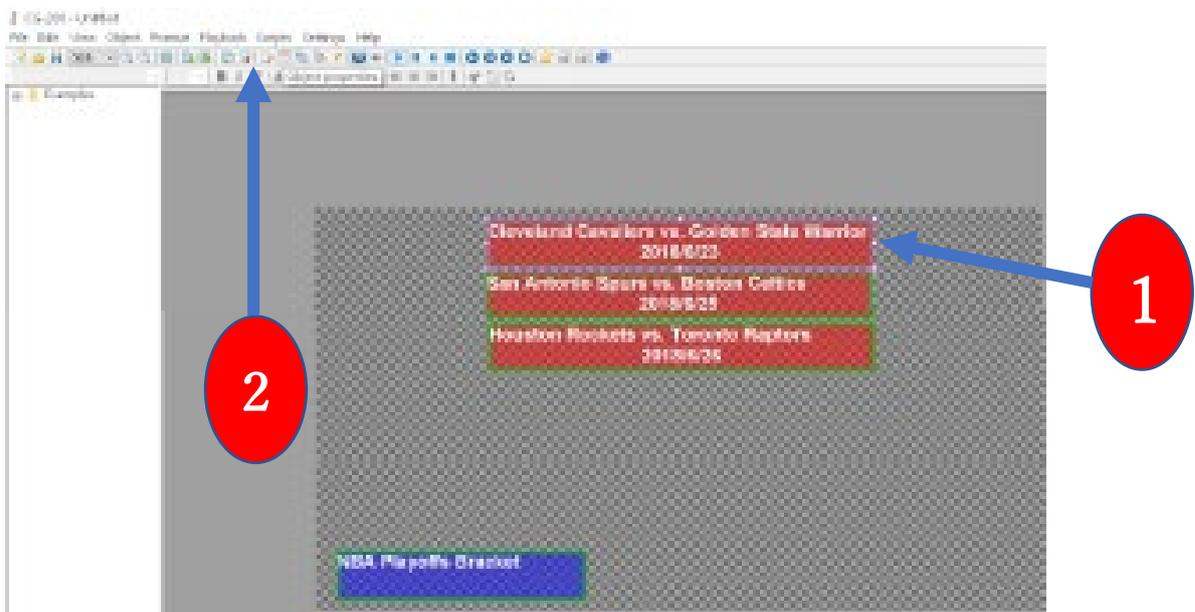
ステップ 2.

希望のテキストを異なるテキストボックスに入力し、次の例に示すように希望のテキストプロパティを設定してください。



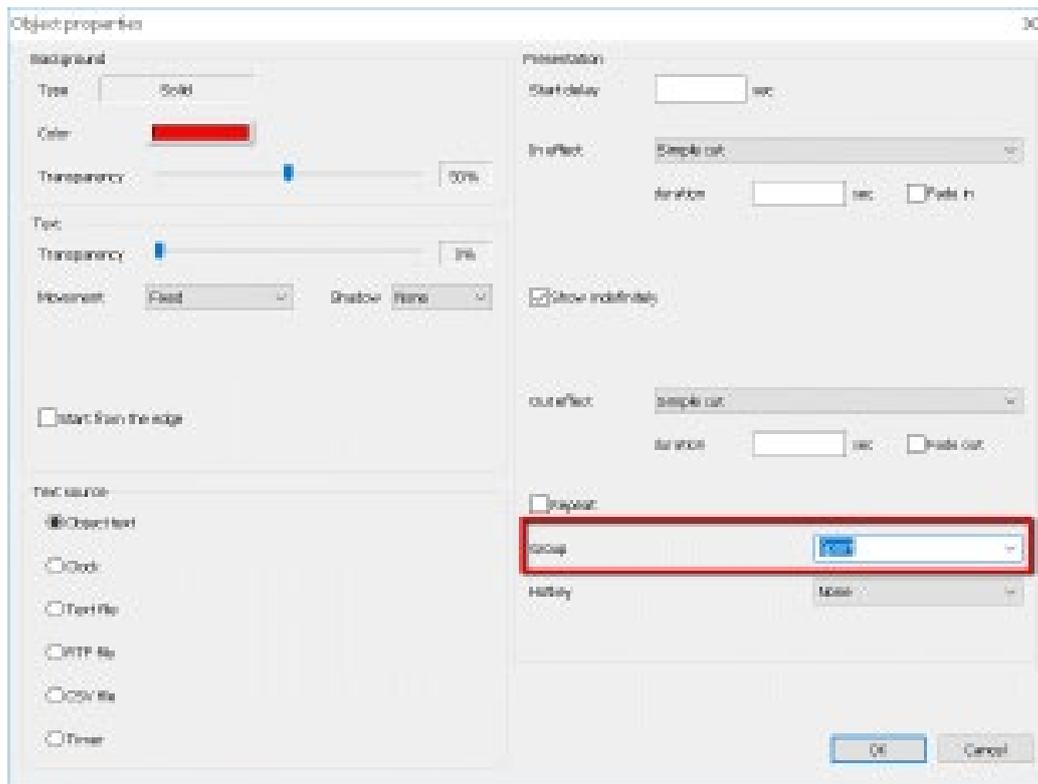
ステップ 3.

次のように、プロパティを変更するテキストボックスの 1 つを選択し、[オブジェクトプロパティボタン]をクリックします。マウスを右クリックして、ドロップダウンメニューからプロパティオプションを選択することもできます。



ステップ 4.

「グループ」オプションが表示されます。 選択したテキストボックスに「グループ」タグを手動で入力するか、ドロップダウンメニューから目的の「グループ」タグを選択して、次のように[OK]ボタンを押します。 この例では、「スポーツ」という単語が手動で入力されて「グループ」タグになります。



ステップ 5.

ステップ 4 を繰り返して、同じ「グループ」タグを使用して、同じグループ内の他のテキストボックスを設定してください。

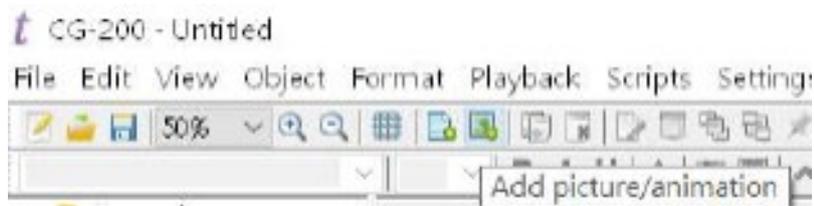
ステップ 6. 同じ「グループ」タグを使用して、目的のすべてのテキストボックスを同じグループに設定したら、1 つのオブジェクト（テキストボックス）をダブルクリックするか、[再生/停止]ボタンをクリックして、同じ「グループ」タグを持つテキストボックスのうち、同時に再生/停止されるものがあります。つまり、同じグループに設定された複数のテキストボックスを同時に制御できます。





グループ化機能は、写真にも採用できます。画像をグループ化するには、次の手順を参照してください。

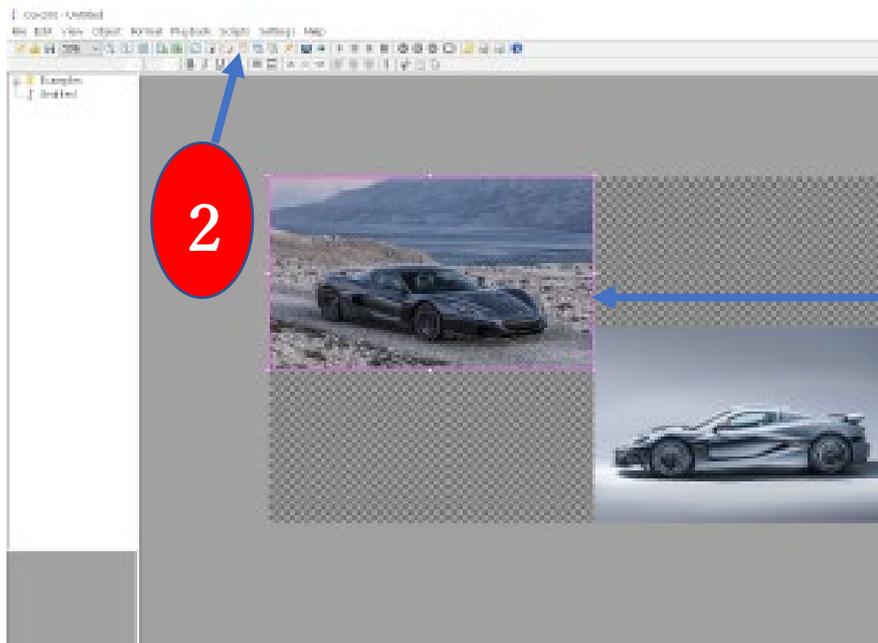
ステップ 1.次の図に示されている「画像/アニメーションの追加」ボタンを押して、画像を挿入します。

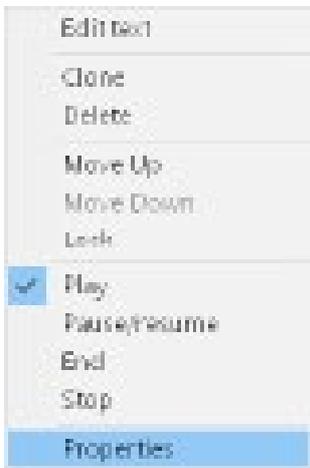


ステップ 2.目的の画像を挿入し、次の例に示すように、画像のプロパティを設定してください。

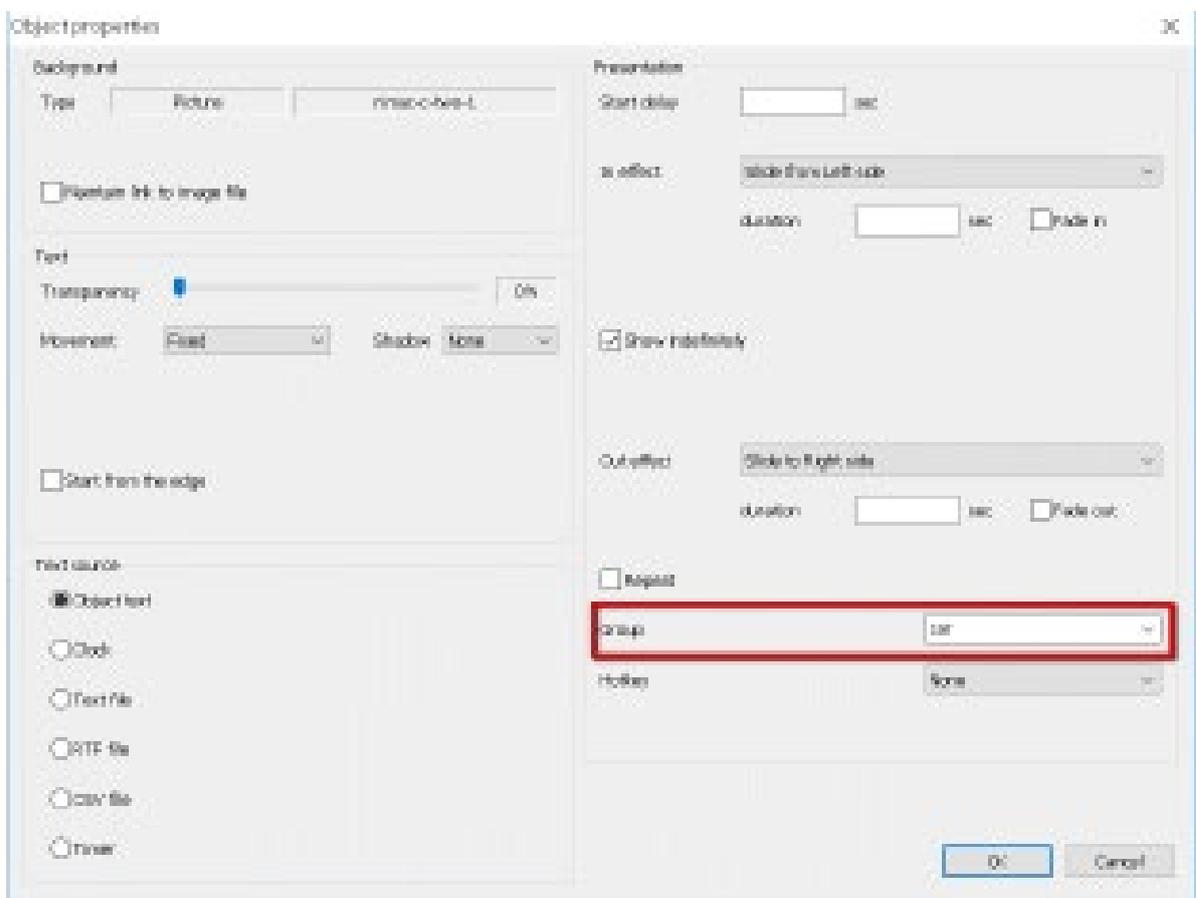


ステップ 3.プロパティを変更する画像の 1 つを選択し、次のように「オブジェクトプロパティボタン」をクリックします。マウスを右クリックして、ドロップダウンメニューからプロパティオプションを選択することもできます。





ステップ4.「グループ」オプションが表示されます。 選択した画像の「グループ」タグを手動で入力するか、ドロップダウンメニューから目的の「グループ」タグを選択して、次のように[OK]ボタンを押します。 この例では、単語「car」が手動で入力されて「group」タグになります。



手順 5.手順 4 を繰り返して、同じ「グループ」タグを使用して、同じグループ内の他の画像を設定してください。

ステップ 6.同じ「グループ」タグを使用して、目的の画像をすべて同じグループに設定したら、1つのオブジェクト（画像）をダブルクリックするか、[再生/停止]ボタンをクリックして、同じ「グループ」タグを持つ画像は、同時に再生/停止されます。つまり、同じグループに設定された複数の写真を同時に制御できます。



#### ホットキー

ホットキーは、繰り返される操作を簡素化する方法です。 オブジェクトをダブルクリックして再生を開始または終了する代わりに、ユーザーはこのオブジェクトにホットキーを割り当て、このキーの組み合わせを押すだけで同じ目的を達成できます。 使用可能なホットキーは、Ctrl + 0~Ctrl + 9 および Alt + 0~Alt + 9 です。 デフォルトでは、新しく作成されたホットキーは割り当てられません

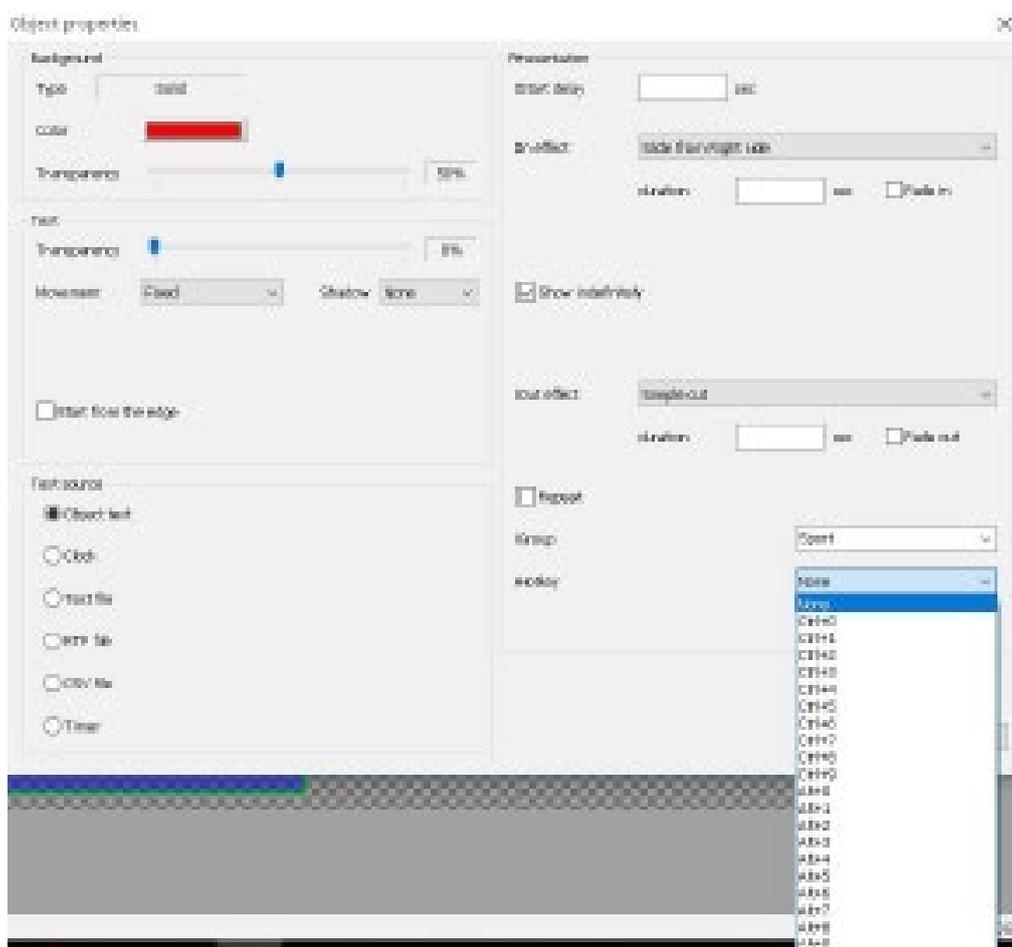
## オブジェクト

ユーザーは、1つのホットキーを一度に複数のオブジェクトに割り当てることができます。このキーの組み合わせを押すと、そのようなすべてのオブジェクトに同時に影響します。

ホットキーを設定するには、次の手順に従ってください。

ステップ 1.ホットキーを設定するテキストボックスを選択し、ツールバーから[オブジェクトプロパティ]ボタンをクリックするか、マウスを右クリックして選択します  
ドロップダウンメニューの[プロパティ]。

ステップ 2.その後、プロパティウィンドウで目的のプロパティをすべて設定し、次に示すようにホットキーの組み合わせ (Ctrl + 0 から Ctrl + 9 / Alt + 0 から Alt + 9) を設定してください。



ステップ 3.ホットキーの組み合わせを設定した後、特定のホットキーの組み合わせを押すと、その特定のホットキーの組み合わせを含むテキストボックスが再生されます。同じホットキーをもう一度押すと、その特定のホットキーのあるテキストボックスの再生が停止します。複数のテキストボックスが同じホットキーの組み合わせに設定されている場合、ユーザーは一度に複数のテキストボックスを再生/停止できます。

### スクリプト

スクリプトは、一連のアクションを自動化するために使用されます。たとえば、ユーザーは、ページファイルをロードし、一部のオブジェクトの再生を開始し、10 秒待機し、他のオブジェクトを再生し、別のページファイルをロードするときに再度待機する必要があります。これはデモにも役立ちます。

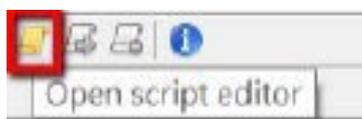
スクリプトは一連のアクションです。スクリプトを定義して特別なファイル (.script) に保存し、後で読み込むことができるスクリプトエディターがあります。保存されたスクリプトファイルは、ページファイルとともに CG-200 の左パネルに表示されます。

アクションの種類は、ほとんど自明です。アクションは、すべてのオブジェクトに適用することも、特定の「グループ」名を持つオブジェクトにのみ適用することもできます。スクリプトは無期限にループすることもできます (ループチェックボックス)。

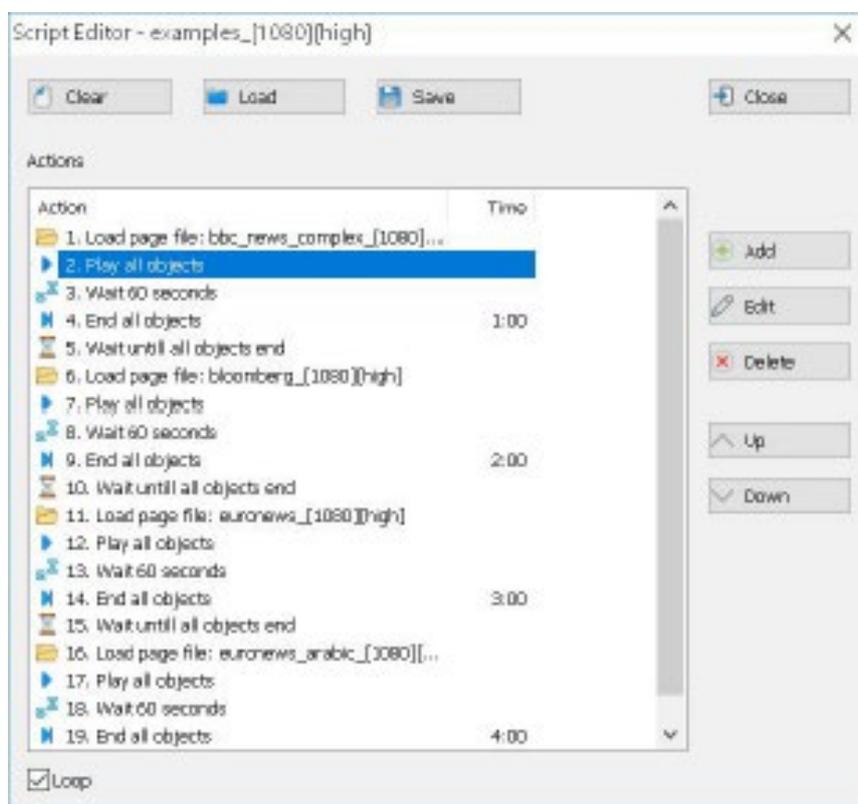
スクリプトファイルの数に制限はありませんが、アクティブなスクリプトは常に 1 つだけです。スクリプトの再生ステータスは、CG-200 ウィンドウの下部にあるステータスバーに表示されます。スクリプトの再生は、CG-200 でページファイルをロードできないなどのエラーが発生した場合に停止します。ユーザーがページファイルのロード、オブジェクトの追加や削除などの手動操作を行うと、スクリプトの再生も自動的に停止します。

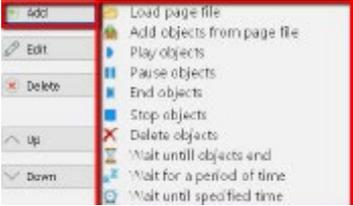
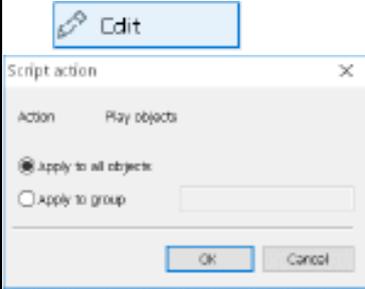
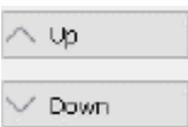
## スクリプトエディターの紹介

ステップ 1. ツールバーの「スクリプトエディターを開く」ボタンをクリックしてください。



ステップ 2. スクリプトエディターのユーザーインターフェイスは次のように表示されます。



Buttons	Functions
	<p>このボタンは、すべてのアクションをクリアするために使用されます。</p>
	<p>このボタンは、ユーザーのPC / ノートブックPCから事前に保存されたスクリプトファイル (.script) を読み込むことができます。</p>
	<p>このボタンは、すべての変更を保存するのに役立ちます。</p>
	<p>このボタンは、スクリプトエディターを閉じるために使用します。</p>
	<p>この「追加」ボタンを使用して、ドロップダウンメニューから目的のアクションを追加します。[追加]ボタンを押すと、ドロップダウンメニューが表示されます。</p>
	<p>[編集]ボタンを押すと、プロンプトウィンドウが表示され、ユーザーは選択したアクションをすべてのオブジェクトに適用したり特定のグループに適用したりできます。</p>
	<p>[削除]ボタンを使用して、選択したアクションを削除します。</p>
	<p>上ボタンと下ボタンを使用して、選択したアクションを前のアクションまたは次のアクションに移動します。</p>
	<p>このループチェックボックスがチェックされている場合、スクリプトは無期限にループできます。</p>

スクリプトエディターの[追加]ボタンのオプション	
Option	Function
ページファイルの読み込み	事前に保存されたページファイルを読み込むには、このオプションを押します。
ページファイルからオブジェクトを追加する	事前に保存されたページファイルを読み込むには、このオプションを押します。
オブジェクトを再生する	このオプションを押すと、すべてのオブジェクトまたは特定のグループのオブジェクトのアクション「オブジェクトの再生」がスクリプトに追加されます。
オブジェクトを一時停止	このオプションを押すと、すべてのオブジェクトまたは特定のグループのオブジェクトのアクション「オブジェクトの一時停止」がスクリプトに追加されま
終了オブジェクト	このオプションを押すと、すべてのオブジェクトまたは特定のグループのオブジェクトのアクション「オブジェクトの終了」がスクリプトに追加されます。
オブジェクトを停止する	このオプションを押して、すべてのオブジェクトまたは特定のグループ内のオブジェクトのアクション「オブジェクトの停止」をスクリプトに追加します。
オブジェクトを削除する	このオプションを押してアクションを追加します。 すべてのオブジェクトまたは特定のグループ内のオブジェクトのスクリプトに「オブジェクトを削除」します。

オブジェクトが終了するまで待つ	このオプションを押してアクションを追加します すべてのオブジェクトまたは特定のグループのオブジェクトのスクリプトに「オブジェクトが終了するまで待機」。
しばらく待つ	このオプションを押してアクションを追加します。スクリプトに「しばらく待ちます」。ユーザーは、このオプションを使用して、希望する一時停止時間を秒単位で設定できます。
指定された時間まで待つ	このオプションを押してアクションを追加します 「指定された時間まで待つ」スクリプトに。ユーザーは、このオプションを押すことで、選択したスクリプトが待機する特定の時間をHH：MM：SSの形式で決定できます。

#### スクリプトエディター操作の例

このマニュアルでは、CG-200 のスクリプトエディタでスクリプトファイルを作成する方法と、スクリプトファイルを再生する方法を示す例を示します。以下の手順に従って、CG-200 のスクリプトエディタの操作を実現してください。

#### スクリプトファイルを作成する方法

ステップ 1.最初に、「単純なオブジェクトを追加」ボタンをクリックして目的のテキストを追加するか、「画像/アニメーションを追加」ボタンをクリックしてページファイルを作成します。

次のように希望の写真。



ShowCast  
Production Set  
KMU-200



datavideo  
JAPAN



Robotic Pan Tilt Head  
PTR-10

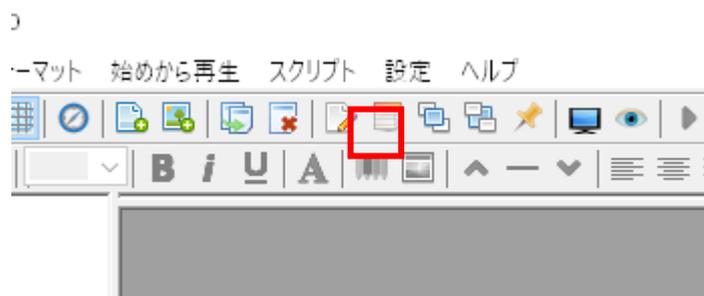
4K ProRes  
Video Recorder  
HDR-80/90



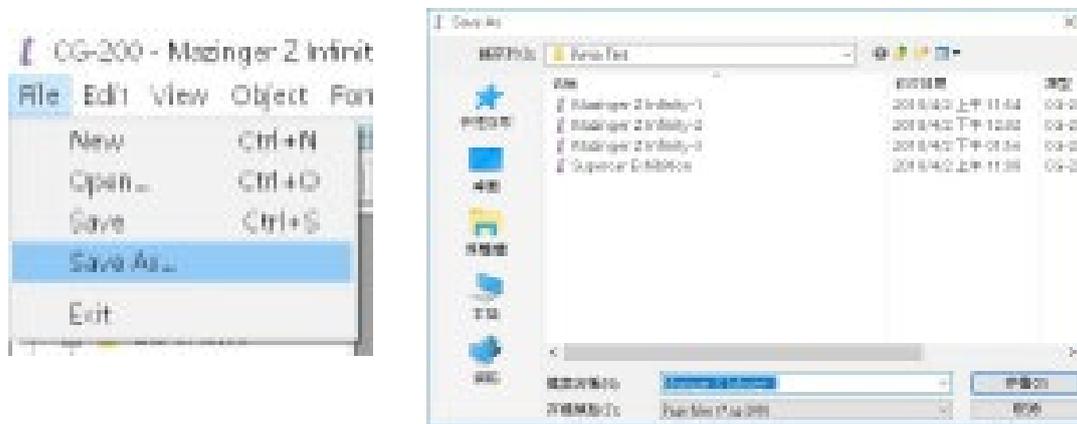
4K Chromakey  
DVK-400



ステップ 2.目的のテキストと画像が追加された後、ツールバーから[オブジェクトプロパティ]ボタンをクリックするか、ドロップダウンメニューから[プロパティ]オプションを選択して、挿入された各画像またはテキストボックスのプロパティを設定します。マウスを右クリックします。



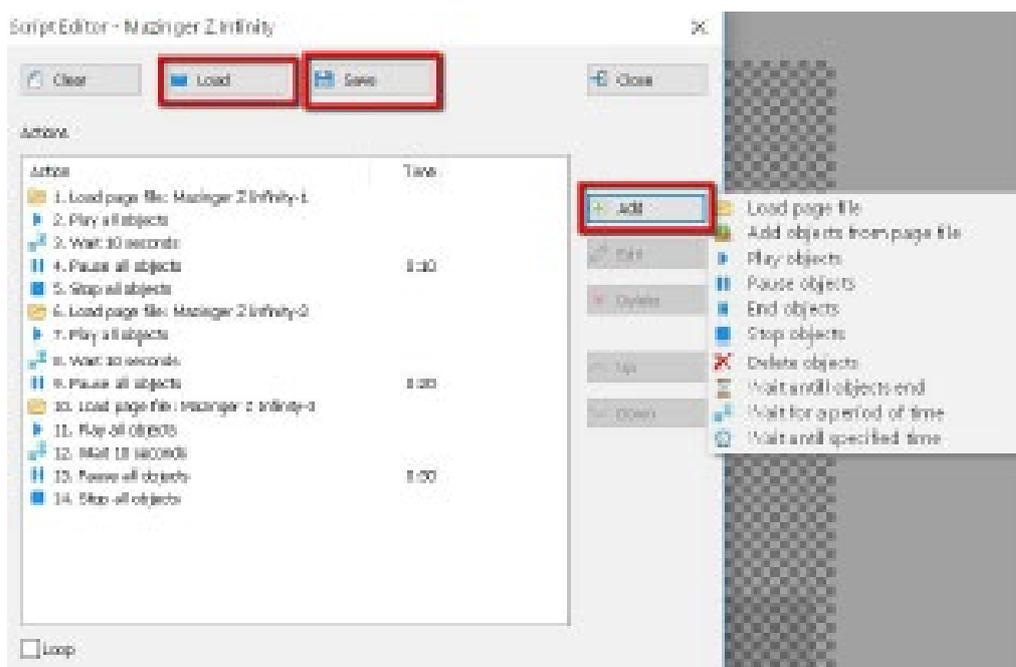
ステップ 3. 「ファイル」 ドロップダウンメニューから「名前を付けて保存」 オプションをクリックして、このファイルをページファイルとして保存してください。



ステップ 4. ステップ 1、ステップ 2、ステップ 3 を繰り返して、次の例に示すように、必要に応じてさらにページファイルを作成します。



ステップ 5 ツールバーの「スクリプトエディターを開く」ボタンをクリックし、「追加」ボタンをクリックして目的のアクションを追加します。ユーザーは、「ロード」ボタンをクリックして、事前に保存されたスクリプトファイル (\*.script) をロードすることもできます。



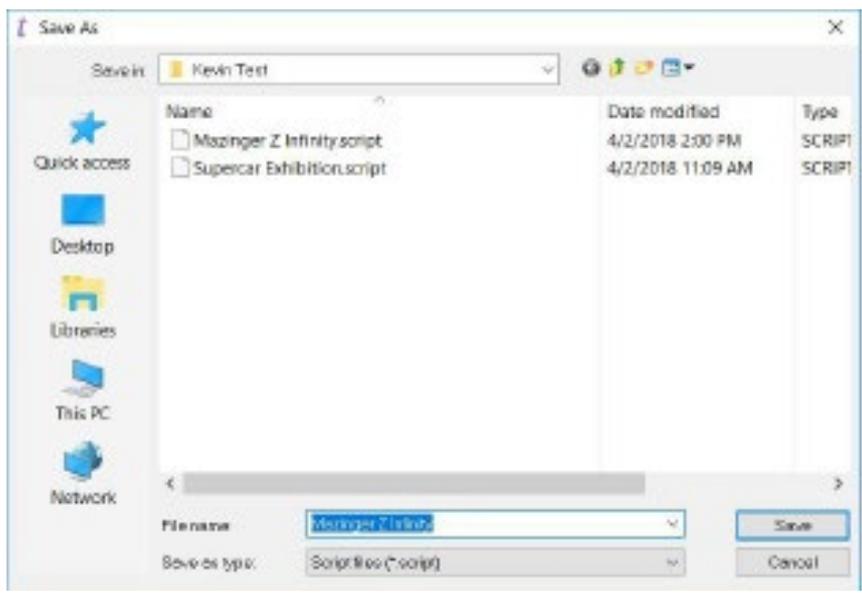
ステップ 6.目的のスクリプトファイルを作成したら、[保存]ボタンをクリックしてスクリプトファイルを保存してください。スクリプトファイルは次のパスで保存する必要があることに注意してください。

C : ¥ Users ¥ xxx (ユーザー名) ¥ Documents ¥ CG-200 ¥ Examples ¥ xxx フォルダー

□xxx (ユーザー名) : このユーザー名は、ユーザーの PC /ノートブック PC の設定によって異なります。

□xxx フォルダー : これは、ユーザーがスクリプトを保存するために C : ¥ Users ¥ xxx (ユーザー名) ¥ Documents ¥ CG-200 ¥ Examples のパスの下に新しいフォルダーを作成する必要があることを意味します。





ステップ7.目的のスク립トファイルを保存すると、スク립トファイルがCG-200のメインユーザーインターフェイスの左側の列に表示されます。これは次のように表示されます。



ステップ 8. 「HDMI 出力オン/オフ」 ボタンをクリックして、次のように表示される HDMI 出力をオンにしてください。



ステップ 9. ツールバーの[スクリプトの再生]ボタンをクリックするか、メインユーザーインターフェースの左側の列から事前に保存されたスクリプトファイルをダブルクリックすると、ユーザーの設定に従って目的のスクリプトが再生されます。

#### オートメーション

ユーザーは、スケジュールに従って CG を操作する必要がある場合があります。自動化ウィンドウでは、スクリプトを特定の日付と時刻に結び付けることができます。1 つのスクリプトは、CG-200 の起動時に再生するように設定することもできます。スクリプトを開始する条件が満たされていない場合（たとえば、指定された時間に CG-200 ソフトウェアが実行されていない、または HDMI 出力が有効になっていない）、スクリプトは開始せず、エラーメッセージは表示されません。

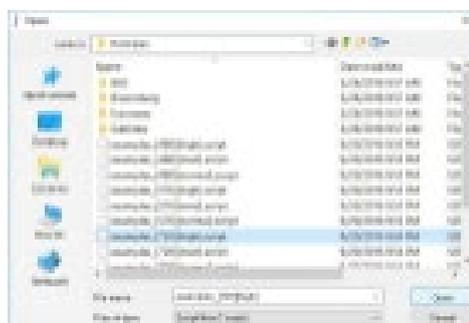
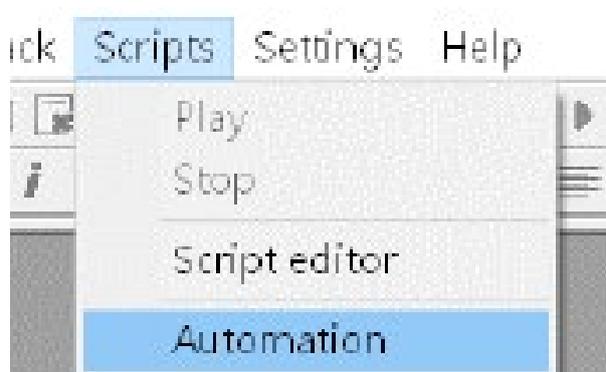
オートメーションウィンドウでは、スクリプトファイルをホットキーにバインドすることもできます。キーの組み合わせを押すと、指定されたスクリプトがロードされて再生されます。「グローバルホットキー」が有効になっている場合、CG-200 をフォアグラウンドで実行する必要はありません。ユーザーがその時点で他のアプリケーションで作業している場合でも、アクションが開始されます。もちろん、CG-200 は少なくとも起動する必要があります。

スクリプトのホットキーは、オブジェクトのホットキーよりも優先されます。ホットキーがオブジェクトとスクリプトファイルの両方に割り当てられていることを確認するためのチェックは実行されません。ユーザーはそれに注意する必要があります。

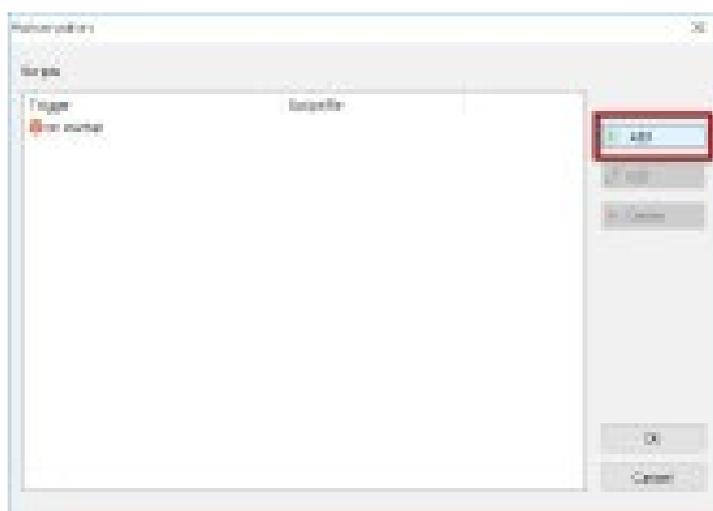
CG-200 の自動化機能を設定するには、次の手順に従ってください。

ステップ 1. ドロップダウンメニューからメニューオプション「自動化」をクリックしてください

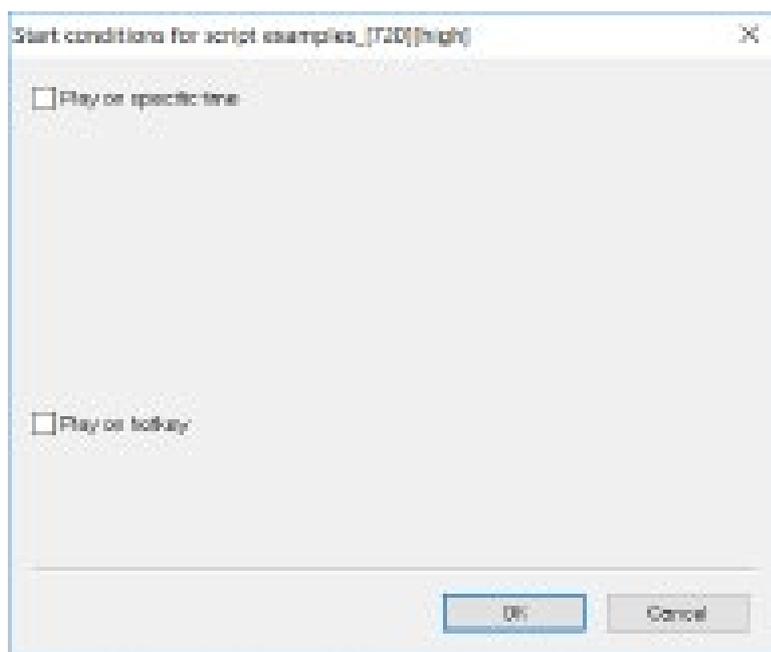
次のように表示される「スクリプト」。



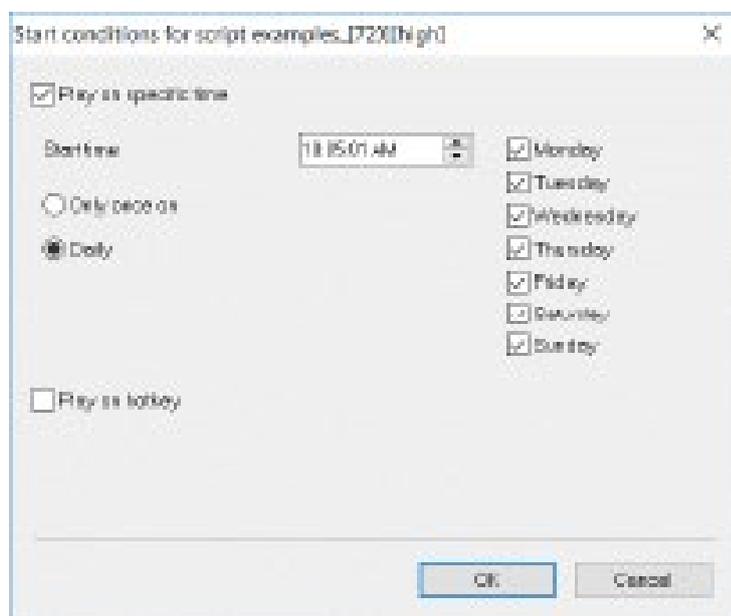
ステップ 2.オートメーションウィンドウが表示されたら、[追加]ボタンをクリックして、PC / ノートブック PC から目的のスクリプトファイルを選択してください。



ステップ 3.その後、選択したファイルの開始条件ウィンドウが表示されます。 選択する 2 つのチェックボックスが表示されます。1 つは「特定の時間に再生」、もう 1 つは「ホットキーで再生」です。

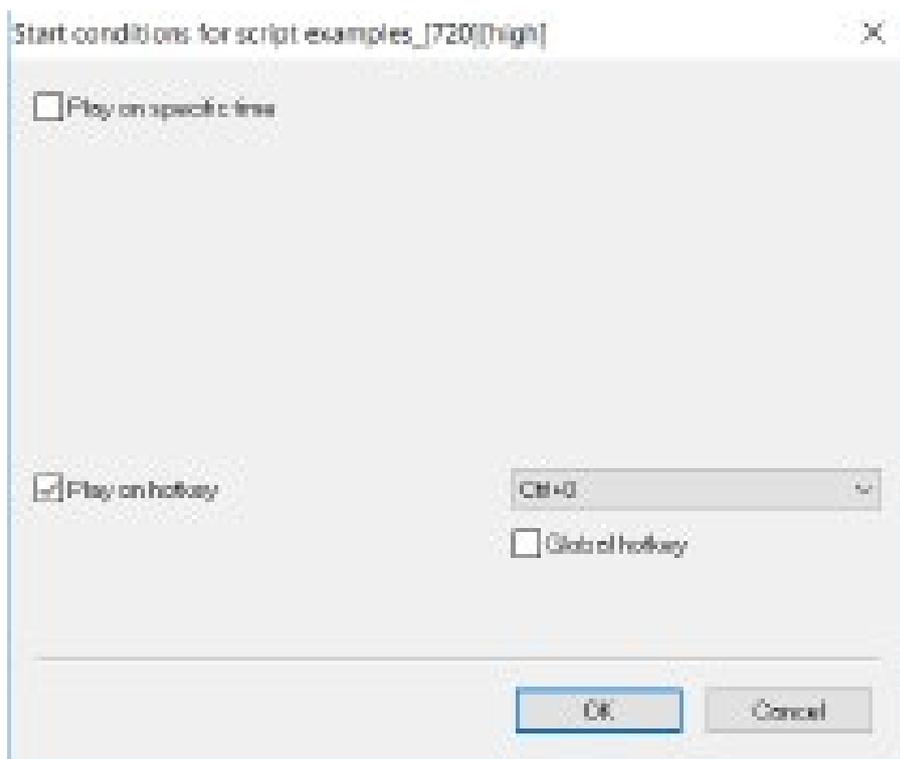


ステップ 4. 「特定の時間に再生」にチェックマークが付いている場合、選択したスクリプトを再生するスケジュールと頻度を設定できます。



ステップ 5. 「ホットキーで再生」がチェックされている場合、ホットキーの組み合わせを決定できます

(Ctrl + 0 から Ctrl + 9 および Alt + 0 から Alt + 9) 選択したスクリプトのロードおよび再生用。 [グローバルホットキー]チェックボックスがオンの場合、CG-200 ソフトウェアをフォアグラウンドで実行する必要はありません。ユーザーがその時点で他のアプリケーションで作業している場合でも、アクションが開始されます。 もちろん、CG-200 は少なくとも起動する必要があります。



#### 自動化操作の例

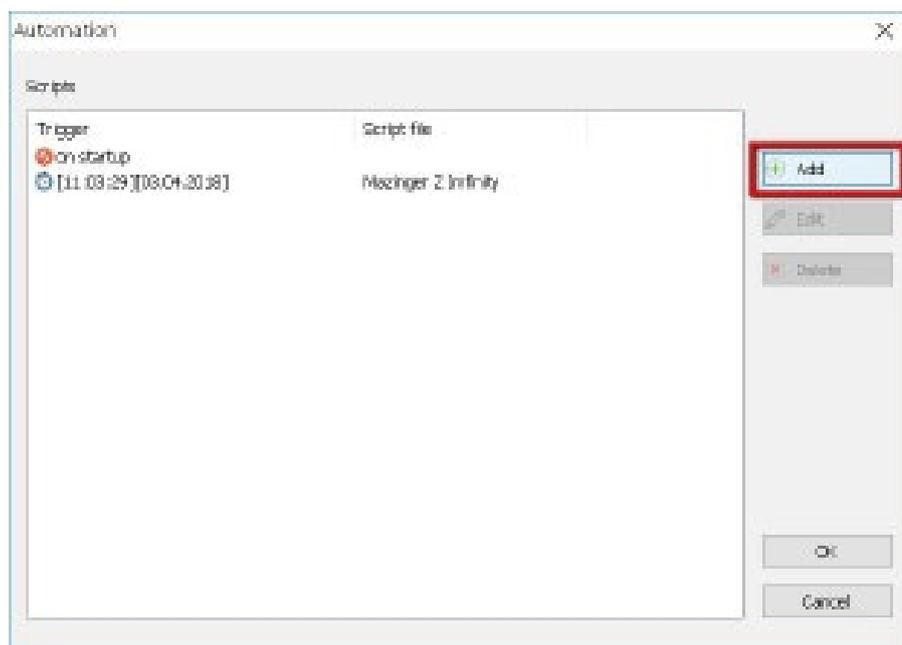
このマニュアルでは、自動化機能がどのように機能するかを示す例を示します。以下の手順に従って、CG-200 の自動化機能の操作を実現してください。

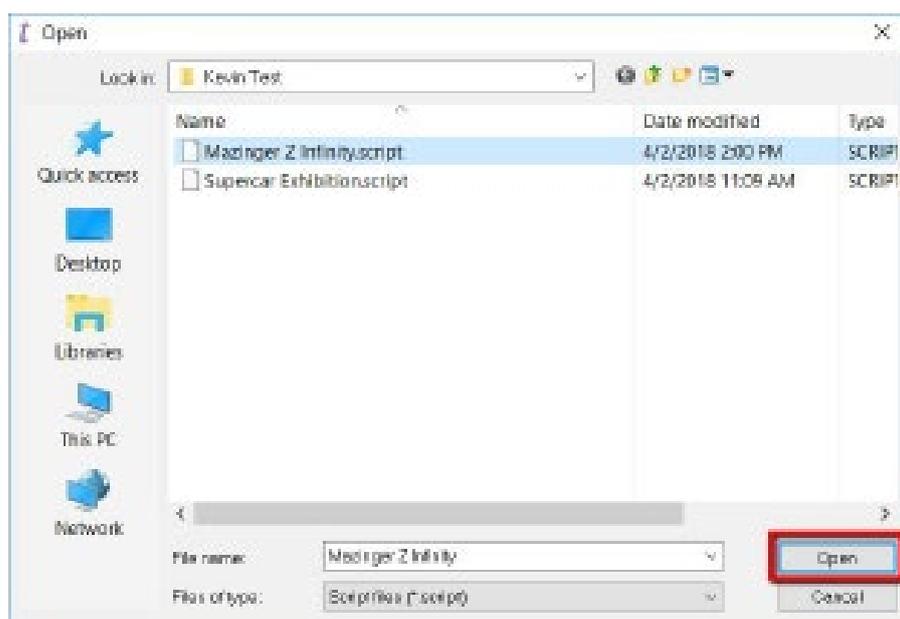
#### 特定の時間に再生する

ステップ 1. ツールバーの HDMI 出力オン/オフボタンがオンになっていることを確認してください。ユーザーが目的のスクリプトファイルを作成した後、次のように表示される[スクリプト]ドロップダウンメニューから[自動化]オプションを選択してください。

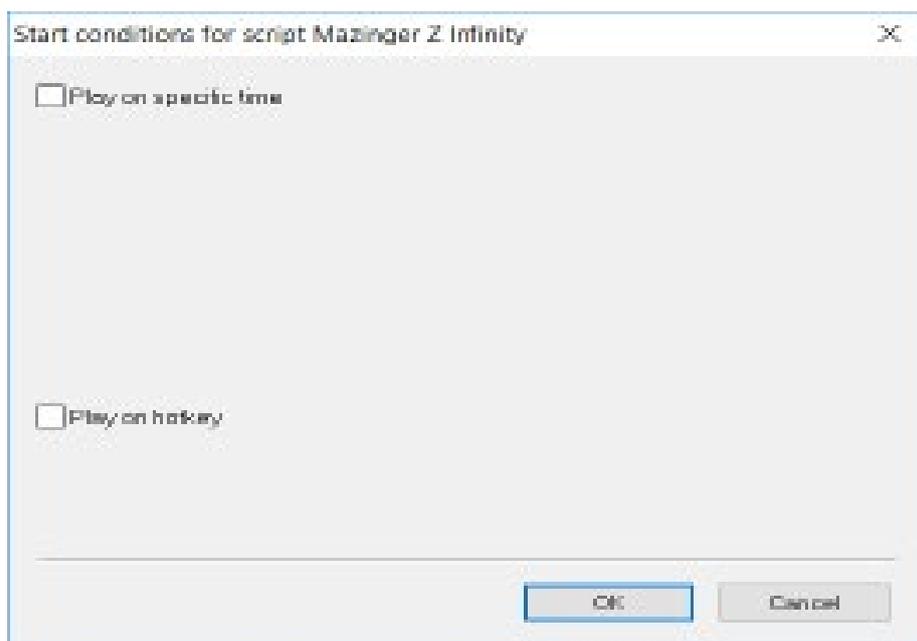


ステップ2. [オートメーション]ウィンドウが表示されたら、[追加]ボタンをクリックして、次のようにオートメーション機能を適用するスクリプトファイルを開きます。この例では、スクリプトファイルの名前は「Mazinger Z Infinity.script」です。

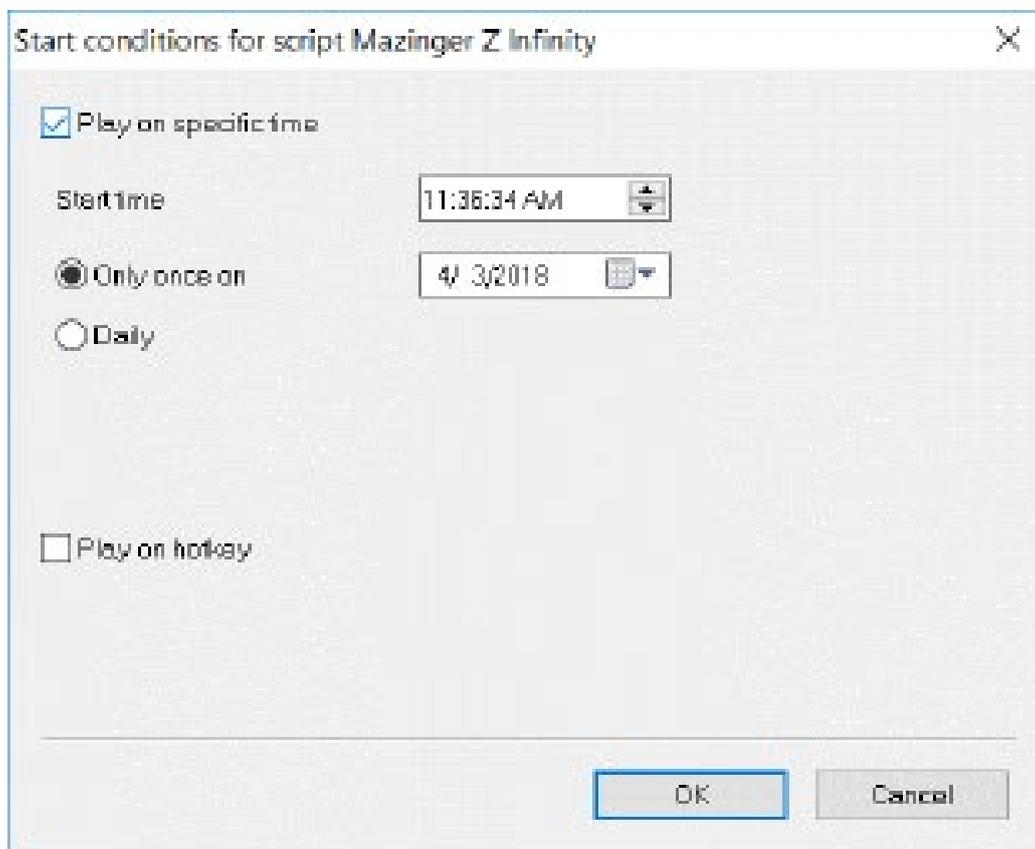




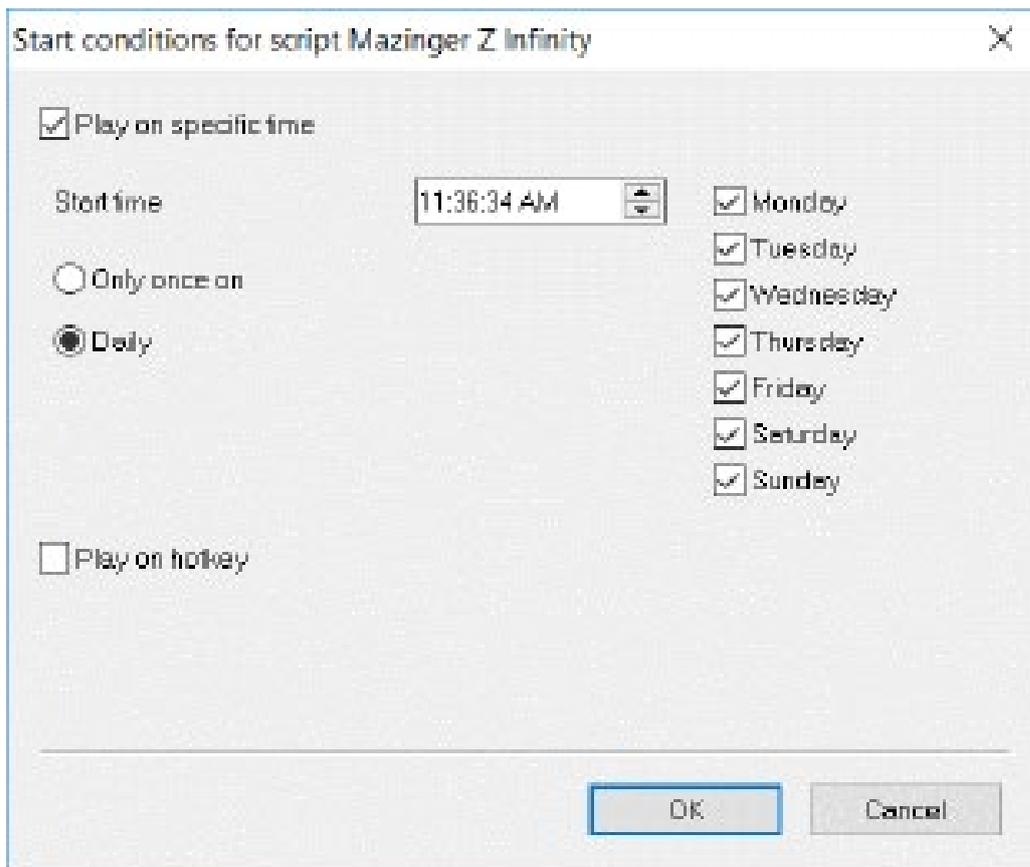
ステップ 3.その後、ユーザーに自動化のスケジュールまたは頻度を設定するための開始条件ウィンドウが表示されます。



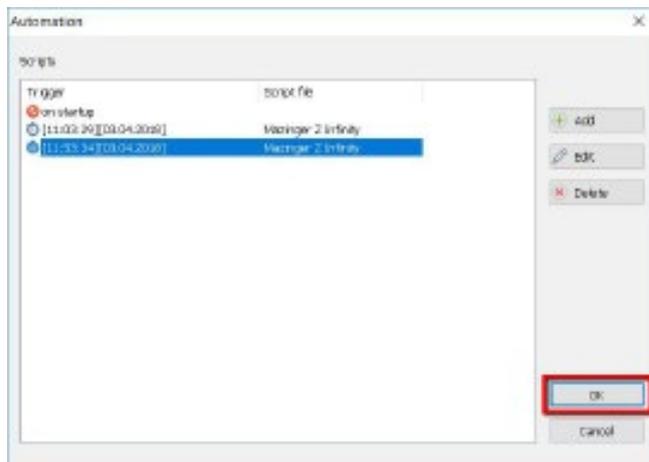
ステップ 4. [特定の時間に再生]チェックボックスがオンになっている場合、ユーザーは目的のスクリプトを再生する開始時間と頻度を次のように設定できます。その後、「OK」ボ



ボタンを押して設定を確認してください。



ステップ 5.スクリプトの再生時間とスケジュールを設定し、[OK]ボタンを押すと、オートメーションウィンドウが次のように表示されます。ユーザーがしなければならないことは、[OK]ボタンを押すことであり、目的のスクリプトはプリセットスケジュールで正確に再生されます。

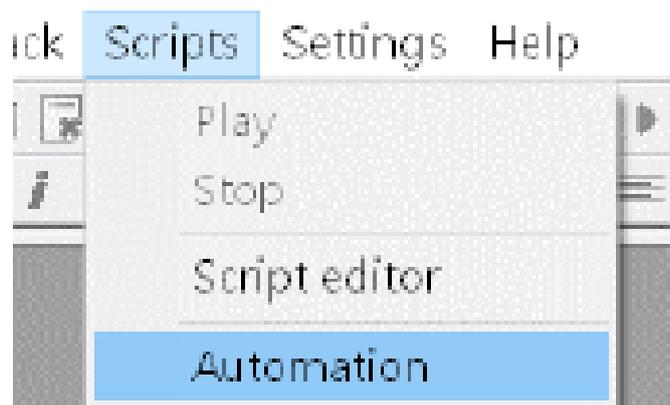


ステップ 6. CG-200 ソフトウェアが事前に開かれていることを確認してください。スクリプトファイルは事前に設定されたスケジュールで正確に再生されます。

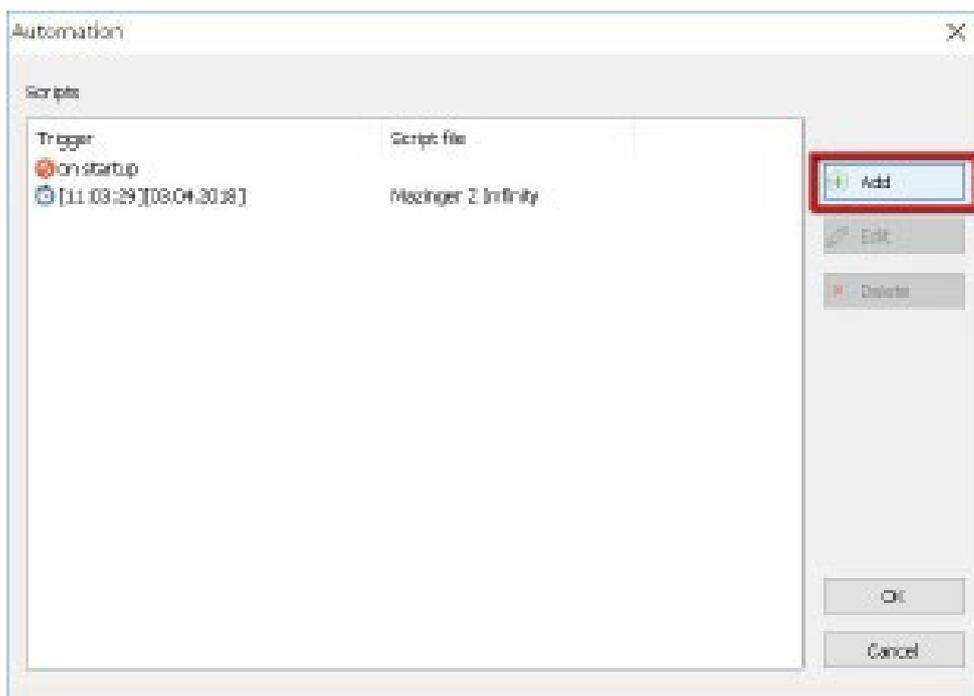


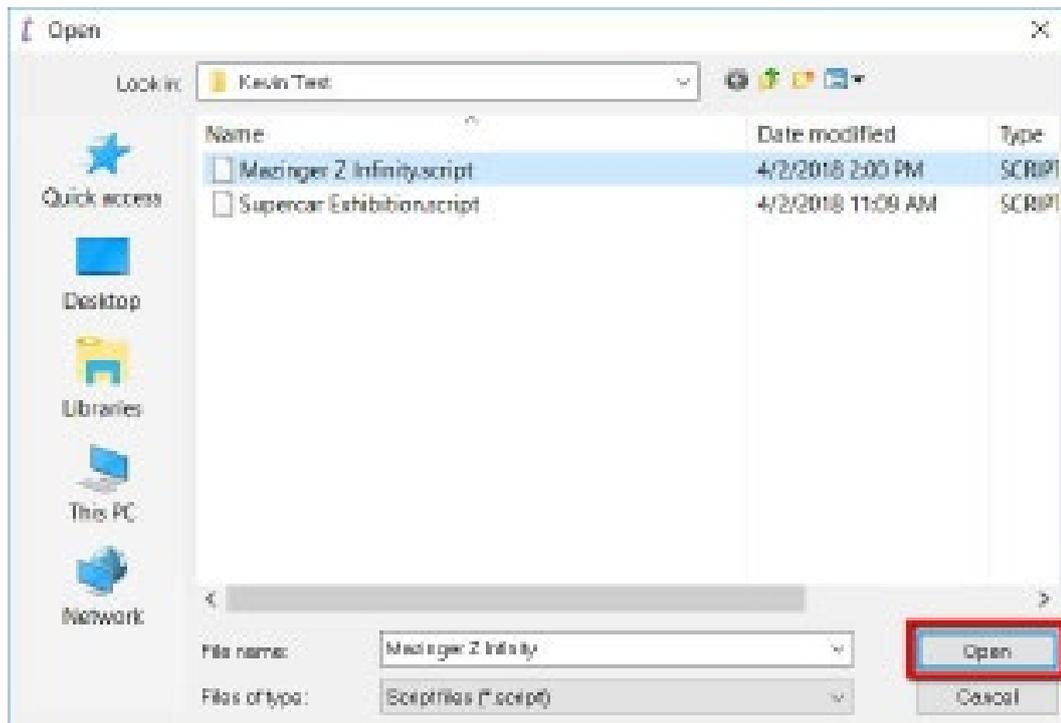
ホットキーでプレイ

ステップ 1. ツールバーの HDMI 出力オン/オフボタンがオンになっていることを確認してください。ユーザーが目的のスクリプトファイルを作成した後、次のように表示される [スクリプト] ドロップダウンメニューから [自動化] オプションを選択してください。

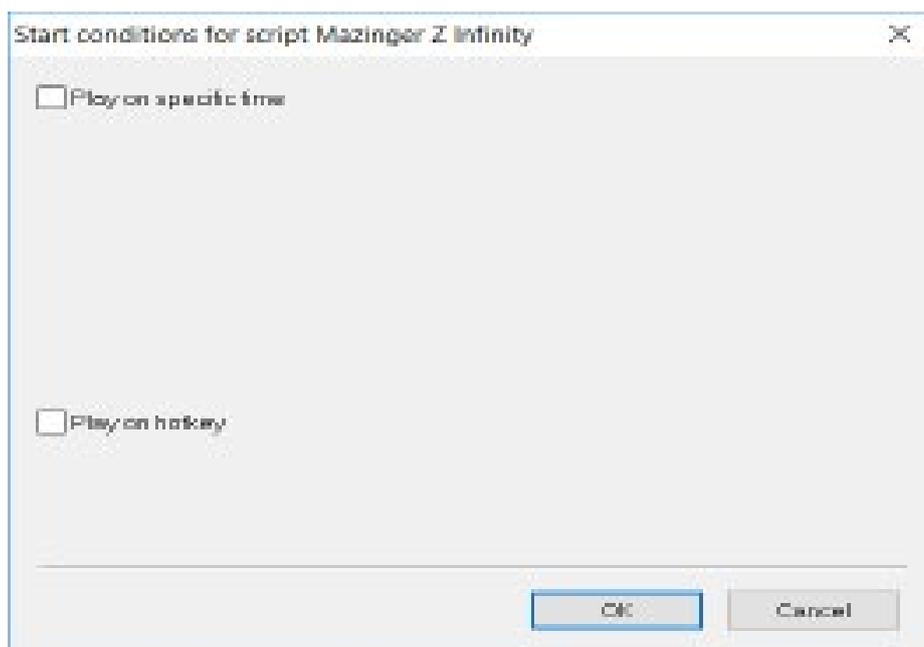


ステップ 2. [オートメーション] ウィンドウが表示されたら、[追加] ボタンをクリックして、次のようにオートメーション機能を適用するスクリプトファイルを開きます。この例では、スクリプトファイルの名前は「Mazinger Z Infinity.script」です。

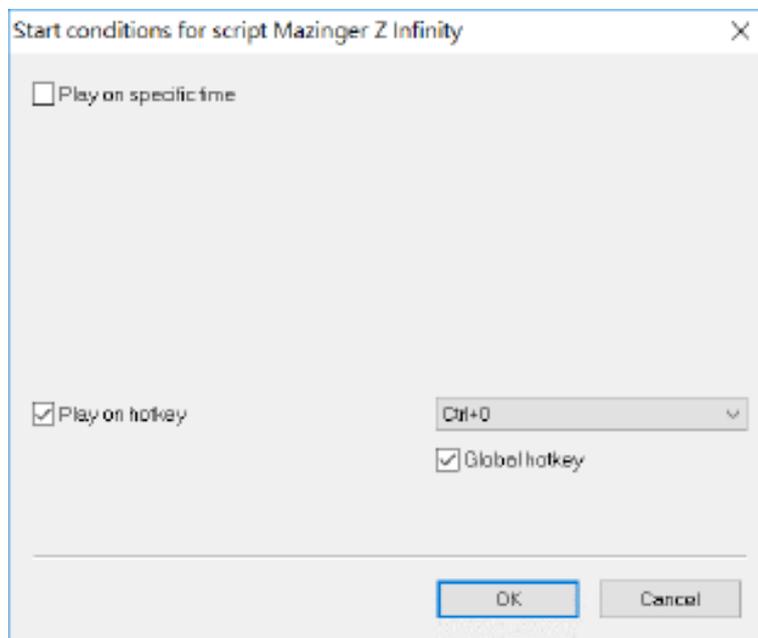




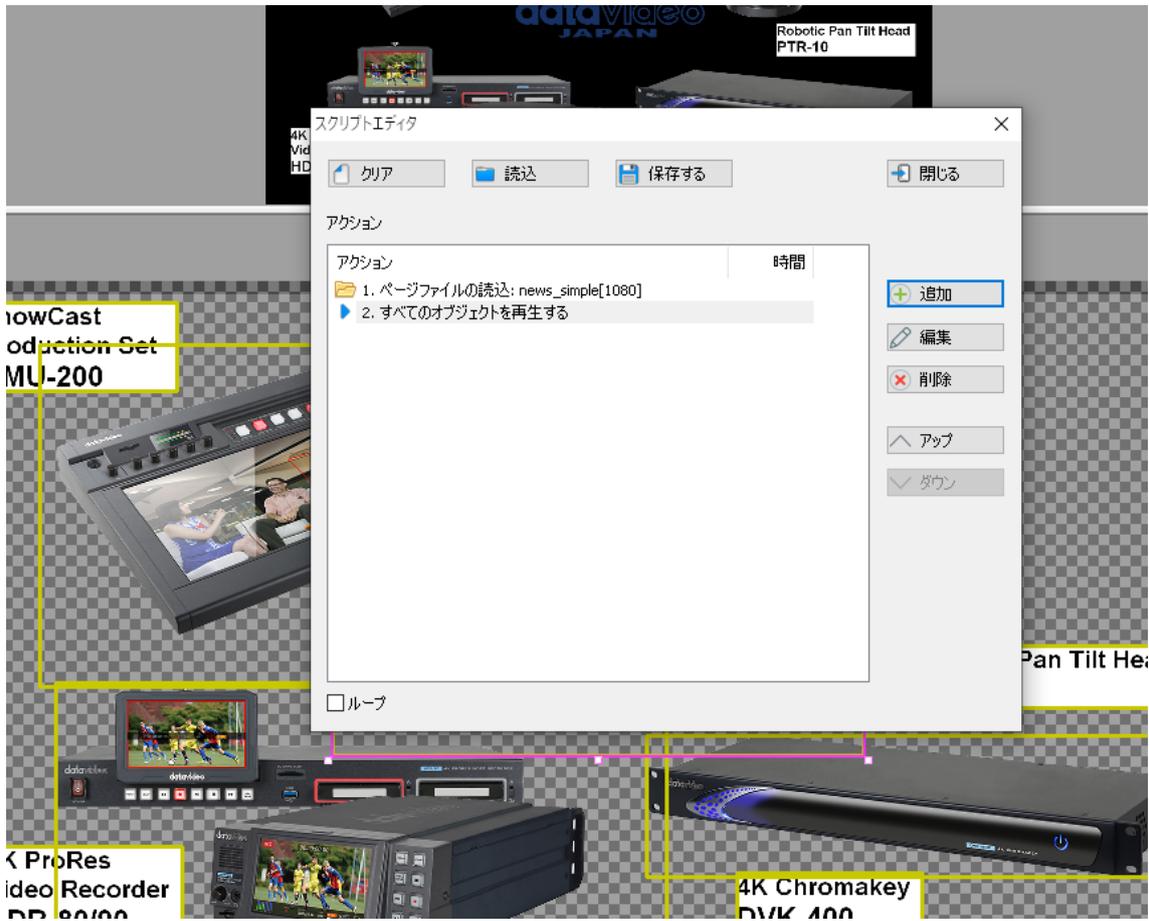
ステップ 3.その後、ユーザーに自動化のスケジュールまたは頻度を設定するための開始条件ウィンドウが表示されます。



ステップ 4. [ホットキーで再生]および[グローバルホットキー]チェックボックスがオンになっている場合、ホットキーの組み合わせは事前に設定されています。ユーザーがしなければならないことは、次のように表示される「OK」ボタンをクリックすることです。



ステップ 5. [OK]ボタンをもう一度クリックしてください。その後、ユーザーがプリセットのキーの組み合わせを押すと、選択したスクリプトファイル「Mazinger Z Infinity.script」が再生されます。ホットキーをスクリプト再生用に設定し、CG-200 ソフトウェアを開くと、ユーザーが他のソフトウェアを使用している場合でも、プリセットのキーの組み合わせを押すことで選択したスクリプトファイルを再生できます。



## オブジェクトナビゲータ

### Object Navigator の紹介

CG 200 は、ユーザーに「オブジェクトナビゲーター」機能を提供します。「オブジェクトナビゲータ」は、基本的に、エディタウィンドウの現在のページにあるオブジェクトのリストです。オブジェクトは、常に Z オーダーで下から上にソートされます。

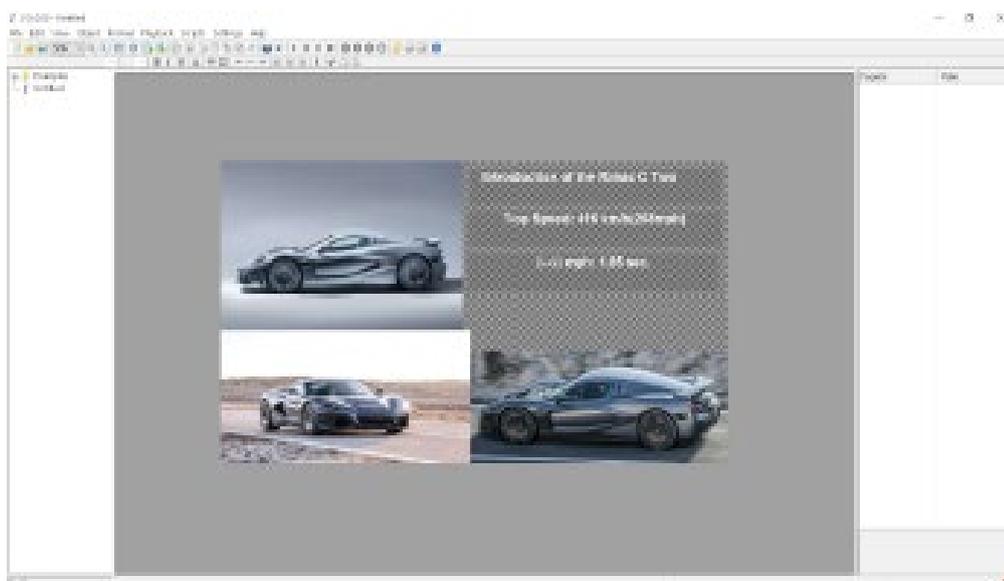
各オブジェクトについて、その番号、グループ名、サンプルテキスト、再生およびロックステータスが表示されます。ユーザーは、オブジェクトを選択して右クリックし、ドロップダウンメニューからプロパティオプションをクリックします。さらに、ユーザーはオブジェクトナビゲータでオブジェクトをダブルクリックするだけで、オブジェクトを再生/停止できます。Object Navigator は、ユーザーがどのオブジェクトが迅速に再生されているかを確認できるため、ページの再生に非常に便利です。

Object Navigator が左パネルに表示されます。オブジェクトナビゲータは、ページリストを置き換えます。「F3」キーを使用して、オブジェクトナビゲータとページリストをすばやく切り替えることができます。さらに、ユーザーは、切り替えのためにツールバーに表示される「オブジェクトナビゲータの表示/非表示」ボタンを使用できます。

#### 「オブジェクトナビゲータ」を使用する手順

「オブジェクトナビゲータ」を使用するには、次の手順に従ってください。

ステップ 1. ツールバーの[シンプルオブジェクトの追加]または[画像/アニメーションの追加]ボタンを使用して、目的のテキストまたは画像を CG-200 に挿入してください。

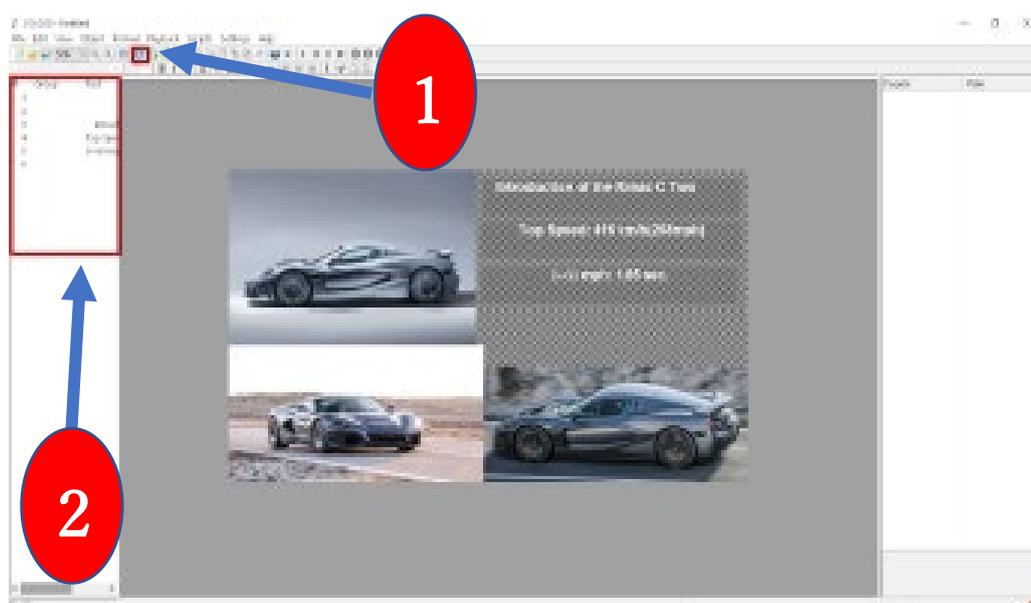


ステップ 2.希望のテキストと写真を挿入したら、を押してください

「オブジェクトナビゲータの表示/非表示」ボタン toolbar  
ツールバーまたは「F3」



Object Navigator パネルを表示するための PC のキーボードのキー。

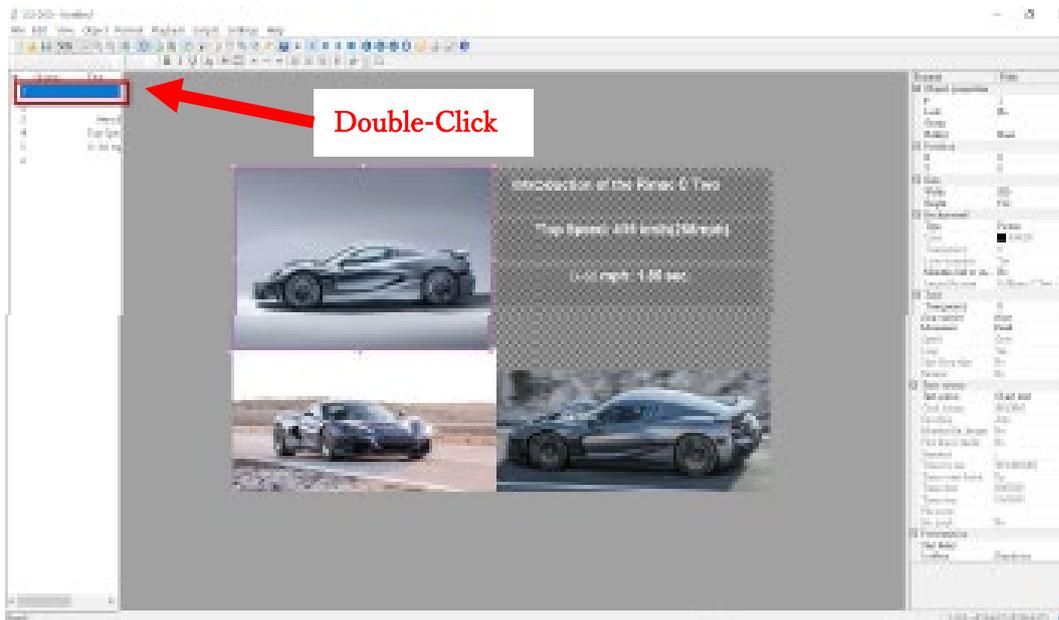


ステップ 3.選択したオブジェクトのすべてのプロパティを設定したら、ユーザーは[HDMI 出力オン/オフボタン]ツールバーで、オブジェクトをダブルクリックします

オブジェクトを再生/停止するための「オブジェクトナビゲータ」パネル。



## Double-Click

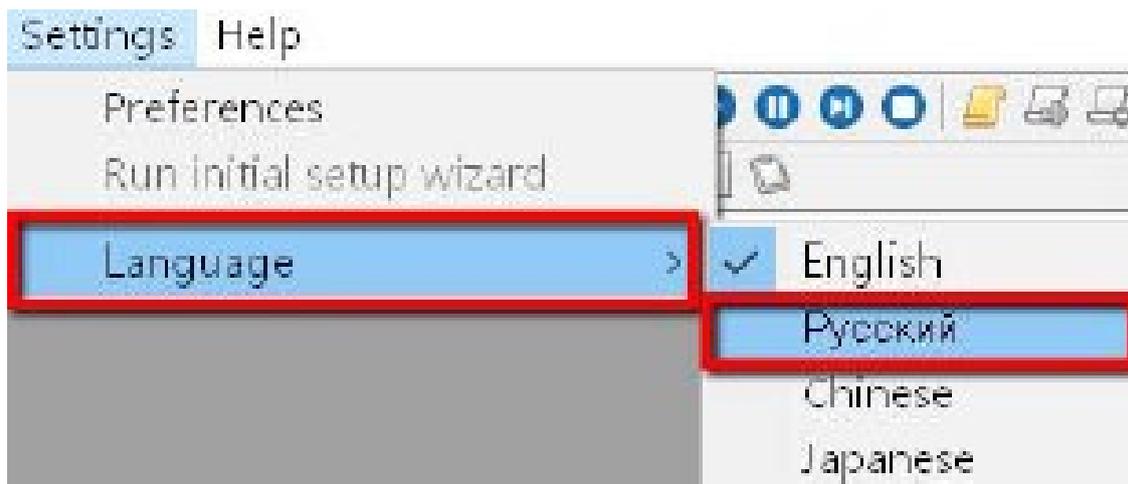


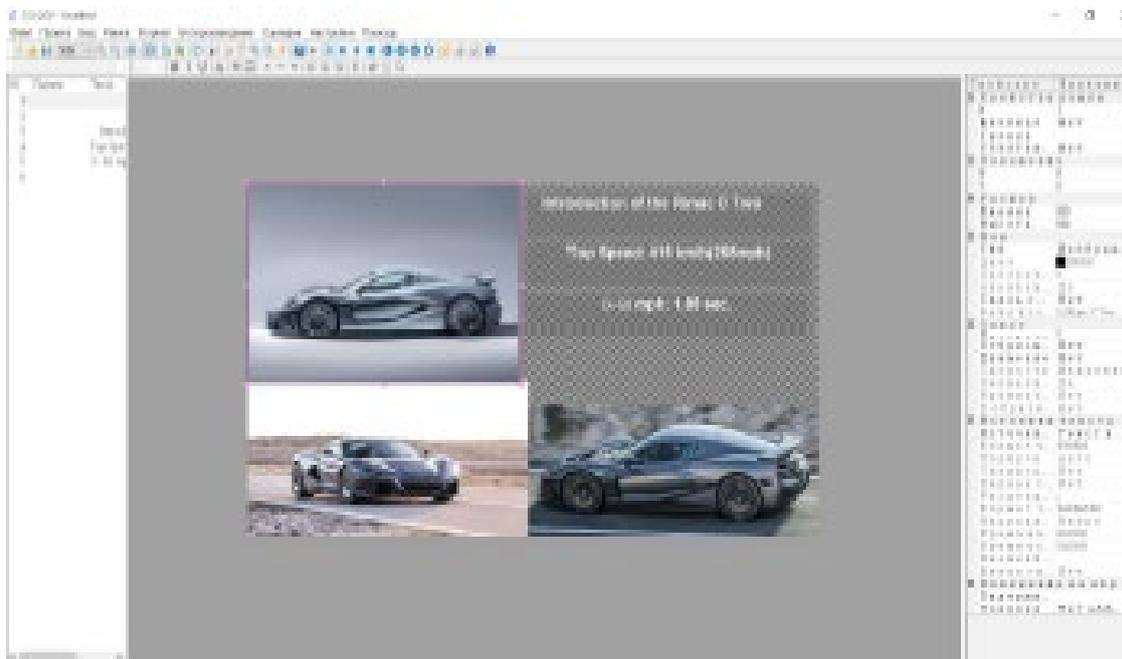
ステップ 4.ダブルクリックすると、選択したオブジェクトが外部接続モニターに表示されます。



CG-200 ユーザーインターフェイスを異なる言語で表示する  
ユーザーフレンドリーで便利な考慮事項のために、CG-200 ソフトウェアは、英語、ロシア語、中国語、日本語を含む 4 つの異なる言語でユーザーインターフェイスを提供します。  
異なる言語を変更するには、次の手順を参照してください。

ステップ 1. [設定]タブをクリックし、ドロップダウンメニューから[言語]オプションを選択してください。ユーザーが選択できる英語、ロシア語、中国語、日本語を含む4つの言語があります。CG-200 ユーザーインターフェイスに使用する言語を選択してください。目的の言語を選択すると、CG-200 ユーザーインターフェイスがターゲット言語（ロシア語など）で表示されます。





高度-テキストの代わりに変数を使用する

フレームテキスト

フレームまたはオブジェクトの作成時に入力されたテキストは、そのまま使用されます。

変更

クロック変数

フレーム/オブジェクトテキストで使用される%1%変数は、現在のシステムに置き換えられます

日時。 %1%変数が見つからない場合、時間テキストが置き換えられます。の

文字列の形式を使用して、ユーザーが表示する必要がある日付/時刻値を選択します。

デフォルトのフォーマット文字列は%H : %M で、24 時間制の時間と分に変換されます  
時間形式。

フォーマット文字列オプションは次のとおりです。

%a-曜日の略称

%A-完全な曜日名

%b-短縮された月名

%B-完全な月名

%c-ロケールに適した日付と時刻の表現

%d-10 進数としての月の日 (01-31)  
%H-24 時間形式の時間 (00-23)  
%I-12 時間形式の時間 (01-12)  
%j-10 進数としての年の日 (001-366)  
%m-10 進数としての月 (01-12)  
%M-10 進数としての分 (00-59)  
%p-現在のロケールの午前/午後 12 時間制のインジケータ  
%S-10 進数としての秒 (00-59)  
%U-日曜日に基づく 10 進数 (00-53) としての年の週  
%w-10 進数としての曜日 (0-6。日曜日は 0)  
%W-月曜日に基づく 10 進数 (00-53) としての年の週  
%x-現在のロケールの日付表現  
%X-現在のロケールの時間表現  
%y-世紀のない年、10 進数 (00-99)  
%Y-10 進数としての世紀を含む年  
%z、%Z-タイムゾーン名またはタイムゾーンの略語

クロックフレームのテキストは毎秒更新されます。

CSV ファイル

フレームテキストの各変数は、リンクされた CSV ファイルの対応する列の値に置き換えられます。この強力な機能は、ニューススクローラーや株式市場の相場表示に使用できます。CG-200 には、これがどのように機能するかをよりよく理解するためのサンプルプロジェクトが含まれています。

CSV ファイルでは、次の追加のプロパティを使用できます。

最初の行はヘッダーです-チェックすると、ファイルの最初の行がヘッダー (列名) として扱われ、列名が変数の名前として使用されます。チェックされていない場合、ファイルの最初の行は通常の行として扱われ、変数名%1%、%2%、%3%などが使用されます。

区切り記号-基になる CSV ファイルの列区切り記号としてコンマまたはセミコロンを選択します。

CG-200 は、テキストファイルと CSV ファイルのさまざまなエンコードを認識します。

自動-ファイルのヘッダーと内容に基づいて、エンコーディングを推測します。このオプションは、ほとんどのファイルで機能するはずですが。

ANSI / OEM -テキストファイルは 7 ビット ANSI または 8 ビット OEM エンコードを使用します。漢字には適していません。

UNICODE / UNICODE ビッグエンディアン-テキストファイルは 16 ビット UNICODE リトルエンディアンまたはビッグエンディアンエンコーディングを使用します。 Windows メモ帳はこの形式を使用します。

UTF-8 -テキストファイルは UTF-8 エンコーディングを使用します。インターネットの一般的な形式。 %z、%Z-タイムゾーン名またはタイムゾーンの略語  
クロックフレームのテキストは毎秒更新されます。

最初の行はヘッダーです-チェックすると、ファイルの最初の行がヘッダー（列名）として扱われ、列名が変数の名前として使用されます。チェックされていない場合、ファイルの最初の行は通常の行として扱われ、変数名 %1%、%2%、%3%などが使用されます。

区切り記号-基になる CSV ファイルの列区切り記号としてコンマまたはセミコロンを選択します。

END